

北海道の 市と町を ご紹介

歴史・観光・食の情報

話題のエリアをご紹介します。

2016年10月現在、179ある市町村のうち色塗りの16の市・町をご紹介します。

北海道のまちは出身、移住元の地域と深い歴史の繋がりがあります。

こんなまちご存じですか？



公益社団法人 北海道倶楽部

<http://www.hokkaido-c.or.jp>

北海道倶楽部とは

北海道倶楽部は、昭和2年に新渡戸稲造博士等によって東京に設立された公益社団法人です。

北海道の健全な発展に寄与することを目的とし、北海道等のための広報活動、地域活性化事業の支援、北方領土返還運動、ふるさと納税等寄附の推進運動、北海道新幹線早期実現運動などの事業を行っています。

北方領土返還運動を行っています

国土地理院電子地図より

バッジ頒布について

- 1週間程度で発送します -

北方領土返還運動推進バッジ

- 「ブラウンリボン」バッジ
- 「千島桜」バッジ



早期実現北海道新幹線バッジ



バッジお申込方法

バッジ1組1,000円(1種類ごと4個一組)

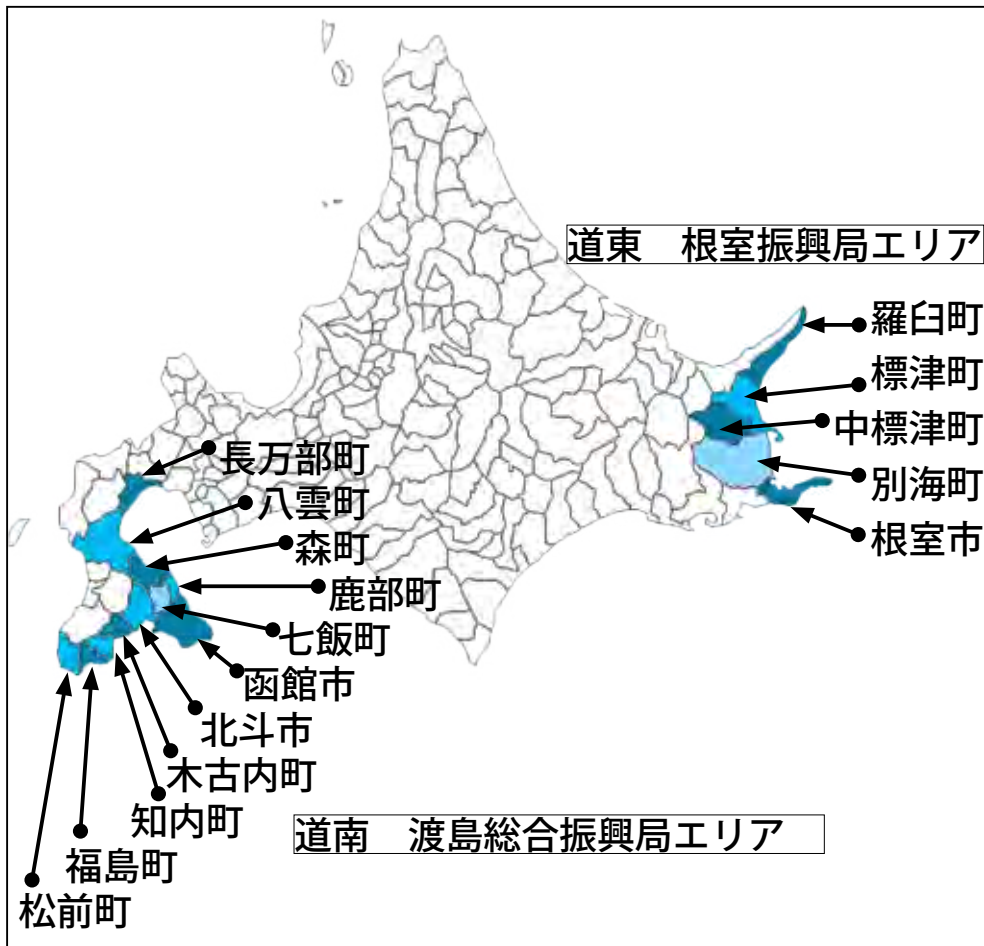
1組ごとに、バッジの種類を明記のうえ、「1000円分の切手」と「返信先を記入した120円切手を貼った返信用封筒」を同封の上、下記住所へ郵送して下さい。(1組毎に返信用封筒が必要です。)

色丹島 2015年8月

公益社団法人 北海道倶楽部

〒100-0014 東京都千代田区永田町2丁目17番17号 北海道東京事務所1階
TEL03-3581-4021 FAX03-3581-4022 <http://www.hokkaido-c.or.jp> hkkd-clb@soleil.ocn.ne.jp

2016年10月1日 北海道倶楽部 昭和30年5月30日(第3種郵便物承認)第707号一(別冊1)



この冊子「北海道の市と町をご紹介」は北海道情報紙の北海道倶楽部・北海道 NOW（2016年10月号）の別冊として刊行しました。

今回掲載したまちは北方領土隣接地域の道東・根室地域と北海道新幹線の駅が2016年3月に開業した道南・渡島地域です。

北海道倶楽部・北海道 NOW に連載している記事の再録で一部古い情

報もありますが、再録に当たり情報を更新しました。

移住元の歴史を受け継いでいることも記され、食や観光のみならず興味深い内容が含まれております。

記事は、北海道及び掲載市町の方のお世話になっております。御礼申し上げます。有り難うございました。

北海道の 市と町を ご紹介

目次

ねむろ

根室市のご紹介 ……2

べつかい

別海町のご紹介 ……6

なかしべつ

中標津町のご紹介 ……10

しべつ

標津町のご紹介 ……14

らうす

羅臼町のご紹介 ……18

はこだて

函館市のご紹介 ……22

ほくと

北斗市のご紹介 ……26

まつまえ

松前町のご紹介 ……30

ふくしま

福島町のご紹介 ……34

しりうち

知内町のご紹介 ……38

きこない

木古内町のご紹介 ……42

ななえ

七飯町のご紹介 ……46

しかべ

鹿部町のご紹介 ……50

もり

森町のご紹介 ……54

やくも

八雲町のご紹介 ……58

おしやまんべ

長万部町のご紹介 ……62

公益社団法人北海道倶楽部のご紹介 ……66

北海道

根室振興局

北海道

渡島総合振興局

色丹島 2015年8月

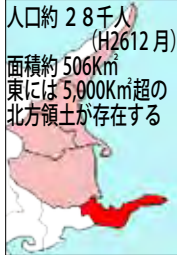


ねむろ 根室市の紹介

根室市とは

○根室市について

根室の開拓は元禄年間(1693～1704)に始まり、明治2年に開拓使松本判官が属僚130人を連れて来住し、現在の根室市の基礎を築きました。明治13年には郡役所と戸長役場が置かれ、更に同15年には北海道三県の一つとして根室県庁が置かれました。蟹、昆布、鮭などの北方領土近海の豊かな水産資源に恵まれ、水産業を中心に発展し、同33年には人口1万4千人を数え、道東一の活況を見せました。



昭和20年の戦災により町の大半を焼失し、更に北方領土をソ連邦に不法占領されたため人口は減少し、産

業、経済の復興も一時は危ぶまれましたが、北洋漁業の開拓等によって立ち直り、我が国有数の水産基地として発展してきました。

また、寛政4年10月、ロシアが日本との通商を求め、正式な使節団として「アダム・ラクスマン」が「帆船・エカテリーナ号」で根室に来航しています。これは、嘉永6年に「ペリー」の「黒船来航」から60年以上も前の出来事であり、根室は「ロシアとの交流の発祥の地」とも言われています。

さらに、この時「アダム・ラクスマン」が、根室港で「スケート」を滑ったことから、根室は「スケート発祥の地」ともいわれています。

「スケート」も戦いに臨んだ



アイヌの「クナシリ・メナシの戦い」については根室市のHPに詳しい。

昭和42年には人口4万9千人を超えました。同52年の200海里漁業専管水域の設定、さらに平成4年からの公海での鮭・鱒沖取り禁止などにより漁獲量が減少し、厳しい状況に置かれています。

現在の根室市は、新しい海洋時代に対応するため、沿岸漁業資源の増養殖をはじめ水産資源の高次加工な

どの振興策を積極的に行っています。また、北方領土返還要求運動の原点の地として、ロシアとの友好関係を保ちながら、北方領土の返還に向けて様々な運動を展開しています。

○食(根室美味カタログ)

北はオホーツク海、南は太平洋。豊潤な漁場に囲まれた根室は、市内に根室港、花咲港をはじめとする9つの港湾・漁港を持つ、日本でも有数の水産都市です。

四季を通じて水揚げされる根室の海の幸はどれも逸品揃い。おいしさは根室から。

※ねむろ旬の味覚情報
・マダラ 12月～1月
・トキシラス(白鮭) 5月～7月
・紅鮭(ニサケ) 7月～10月
・秋刀魚(ササ) 8月～10月
・鯉(カレイ) 9月～12月
・白鮭(シロサケ) 7月～10月



・蛸(タコ) 8月～1月
・花咲蟹(ハサキガニ) 8月～10月
・喜知次(ウシ) 12月
・昆布(コンブ) 6月～9月
・喫ぼん海胆(ウニ) 7月～10月

○イベントカレンダー

6月.. 根室半島磯釣全道大会
7月.. ねむろ港まつり
8月.. 金刀比羅神社例大祭
9月.. 根室かに祭り、根室さん祭り
10月.. 根室産業フェスティバル
1月.. 納沙布岬初日詣
2月.. ねむろバードランドフェスティバル、ニムオ口冬の祭典

※根室市ホームページ
※根室市公式facebook
※根室の防災facebook

http://www.city.nemuro.hokkaido.jp/dcitynd.nsf
https://www.facebook.com/nemurocity?fref=ts
https://www.facebook.com/nemurobousai

市の取組み

です。

○移住・交流

根室市では、中長期滞在や移住を希望する方に対し、「ちよつと暮らし施設」の整備や、空き家・空き地などの情報提供のほか、移住関連全般の相談窓口を設置しています。詳しくは担当までご連絡ください。

策室)

○北方領土対策

北方領土に隣接する根室市は「北方領土返還要求運動原点の地」として、全国的先頭に立って、様々な啓発運動に取り組みんでいます。

早期に平和条約を締結し、日ロ両国の真の安定した友好関係を築きたい、それが私たちの基本的な考え

※主な事業

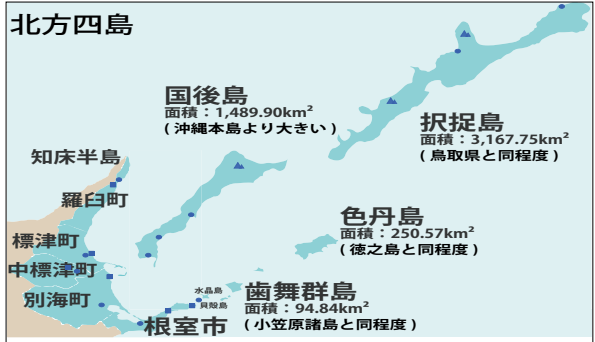
【通年事業】

- ・北方少年少女塾
- ・北方領土を目で見る運動
- ・北方領土返還要求「原点の声」派遣事業
- ・四島の声啓発事業

【イベント事業】

- ・北方領土返還要求根室市民大会
- ・北方領土ノサップ岬マラソン大会
- ・北方領土まで歩こう会
- ・根室市少年弁論大会
- ・「北方領土の日」根室管内住民大会
- ・北方領土返還要求中央アピール行動 (担当：総務部北方領土対策課)

○ふるさと会のご案内
東京根室会の連絡先
〒350-0314
埼玉県比企郡鳩山町楓ヶ丘
4-8-4
長岡 静志
☎049-296-5095



○ふるさと納税(寄附)
根室市の目指す将来像を実現するため、皆様に「寄附」という形でまちづくりにご参加いただいております。「ふるさと根室」への温かいご支援をお待ちしております。

◆事業メニュー

- ①住み続けられる「安心」と「支え合い」のまちづくりプロジェクト
- ②住みたいと思える「ひと」と「しごと」を呼び込むプロジェクト
- ③みんなで実践する「市民協働」の推進プロジェクト
- ④北方領土返還運動に関する事業
- ⑤寄附者の意向を反映し、住み良いまちづくりのために必要と認める事業

◆寄附者へのお礼

ご寄附いただいた皆様へ、お礼の品として寄附金額に応じて選べる記念品を贈呈しています。海産物やスイーツなど、魅力あふれる根室産品を多数取り揃えています。

◆お申込み

寄附のお申し込みは、クレジットカード決済が可能なインターネットからが便利です。

ふるさとチョイス(根室市ページ)
<http://www.furusato-tax.jp/japan/prefecture/01223>

根室市のご紹介

ねむろ

ふるさとネムロ

観光スポット

◆根室LANDSCAPE

北海道の東に位置する街根室。細長く突き出した半島が太平洋とオホーツク海を分けています。その最東端にあたるのが納沙布岬。ここから北方領土・歯舞群島の貝殻島までは、わずか3.7km。晴れていれば肉眼でも見ることが出来ます。

★北方領土

北方領土とは、国後島、択捉島、色丹島、歯舞群島からなる四つの島のこと



える湖で、砂州によって海と隔てられた湖であることが多い)です。周囲には広大な湿原、森林、砂丘など変化に富んだ自然が広がっており、日本で見ることのできる野鳥の半数以上、約330種が観察できます。

★春国岱(しゅんくにたい)

春国岱は第一砂丘、第二砂丘、第三砂丘の3つの砂州から成っており、最大幅約1.3km、面積は約6千haもあります。第三砂丘は、

ス張り、レストラン「バードバル」からの眺めは最高!根室特産の味を楽しまながら、贅沢な時間を過ごせます。鮮魚販売コーナーや、お土産品コーナーも有り。

★春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

春国岱には5つの遊歩道コースがあります。所要時間は1時間半から2時間。野生の動植物の営みに触れることができます。これらのコースの情報はもちろんだん、図書コーナー、標本展示コーナーなどで様々な自然のエッセンスがぎゅっと詰まった春国岱の魅力を紹介しています。

★温根沼

エゾマツに囲まれた、周囲15kmの湖「温根沼」。根室湾につながっており、干潮時には沖合いまで砂州となり、アサリやホッキ貝な

5年に点灯された北海道最古のものでした。周辺には四島(しま)のかけ橋が建つ「望郷の岬公園」をはじめ、北方領土啓発施設が充実。

★北太平洋シーサイドライン
落石方向から浜松海岸方面へ向かう道道142号線は、太平洋を見渡す快適ルート。変化に富んだ海岸線が楽しめます。

★落石岬

太平洋に突き出した岬落石岬。散策道を歩けば、自然の南限地として国の天然記念物に指定されている「サカイツツジ」(見ごろは6月上旬)に出会えます。一帯にはアカエゾマツの林が広がり、湿地には美しい花々。眼下には太平洋の荒波と見どころもいっぱい。

★花咲灯台車石

ここが海底であったことを物語る枕状溶岩の塊。車輪を思わせるような放射状の玄武岩で、直径は6m。海底火山が噴火すると、その熱いドロドロの溶岩が海中で冷やされます。この溶岩は今から約600万年前

★体験ツアー&アウトドアライフ

自然の姿を眺めたり、自然の中に溶け込んだりする時間も貴重ですが、その自然と共に楽しむスポーツや体験が人気を呼んでいます。根室には体験型の旅を希望する人のためのメニューもいろいろ。ぜひ挑戦してみてください。

★バードウォッチングの聖地

約370種の野鳥が観察



根室市の紹介

ねむろ

で、北方四島とも呼ばれて
います。現在も北方領土は
ロシアに不法占領されてお
り、根室市民の4人に1人
が元島民、もしくはその2
世、3世です。2月7日を
「北方領土の日」と定め、
全国で毎年「北方領土の
日」関連行事が行われてい
ます。

★知床・ノサップライン

知床半島のウトロと根室
半島の納沙布岬を5つの国
道と道道35号で結ぶ、知床・
ノサップライン。オホーツ
クの美しい海岸など北海道
をまるごと楽しめる199.6
kmのドライブコースです。

★風蓮湖

オオハクチヨウが飛来
する、風蓮湖。湖水面積
575.5平方km。周囲96
km。根室市と別海町をまた
ぐ汽水湖（淡水と海水が混
ざった塩分の低い水をたた



※風蓮湖 春国岱(2005
年ラムサール条約登録)

★スワン44ねむろ

風蓮湖や春国岱の自然が
手に取るように見える「道
の駅」。施設内は前面ガラ

3000年前に出来たと
言われています。第一砂丘に
は、国内最大級のハマナス
の群落があり、第二砂丘
には砂丘上に生まれた、珍
しいアカエゾマツの純林、
第三砂丘には巨木が生い茂
り、豊かな原始の姿を思わ
せます。

★納沙布岬

日本で一番早く朝日と出
会える場所。本土最東端の
岬。先端に建つ灯台は明治



に冷えて固まったと推察さ
れており、国の天然記念物
に指定されています。

されている根室は、まさに
野鳥の宝庫。納沙布岬、春
国岱、明治公園、市民の森
などバードウォッチングで
きる海、湖、森がいたると
ころにあります。バード
ウォッチングは、双眼鏡さ
えあれば初めての方でも簡
単に挑戦できます。バード
ウォッチングのノウハウや
野鳥の情報などの詳細は、
「春国岱原生野鳥公園ネイ
チャーセンター」で教えて
もらうことができます。

★千島桜

日本で一番遅く咲く桜が
根室の千島桜。5月下旬の
開花時期には、ピンクや白
の花びらと桜の香りで少し
遅い春の訪れを感じさせて
くれます。

★ミズナラの風衝林

根室半島の風衝林は、海
峽を渡って吹き付ける強い
風、潮しぶきなどにより成
長過程で曲がり、変形した
独自のミズナラ林です。根
室市の文化財にも指定され



★悠々とした大海原で自然ウォッチングを満喫

希少な海鳥と出会える
チャンス。野鳥ファンの方
にはもちろん、根室の自然
を感じることでできる魅力
あるクルーズは観光客の皆
様にも大人気です。ガイド
付きですので安心して子ど
もから大人まで楽しみめま
す。※要事前予約

別海町とは

○町名の由来

町最大の河川である西別川の河口が大きく折れ曲がっていることから、アイヌ語で「川の折れ曲がっている」を意味する「ペツ・カイエ」が転訛し、「べつかい」となったといわれています。

○町の歴史

別海町の歴史は、江戸後期に野付半島及びその周辺に鯨(にしん)漁を中心とした漁場が開設されたことにはじまります。また、野付半島は、知床方面、根室方面、国後・択捉方面を結ぶ重要な港として、そして

日本の最東端を守る北方警備の要衝として多くの役割を果たしています。

その後、明治2年に90人余りが団体で移住したのを契機に開拓が始まりましたが、冷涼な気候や火山灰性土壌など厳しい自然条件により、次第に畑作農業から牧畜農業へと転換していき

ました。
昭和30年代のパイロットファーム(近代的な機械を使い大規模な酪農専業経営の実現をめざしたもの)、昭和48年から昭和58年の新酪農村(さらに大規模で近代的な酪農村)の建設により機械や施設の大規模・近代化が進み、現在では名実ともに全国一の酪農王国となっています。

○食(別海美味カタログ)

【乳製品】

摩周湖の伏流水と牧草で

育った牛だから、『生乳生産日本一』の別海牛乳は、おいしさも日本一!

質の高い生乳を原料に、こだわりの牛乳や、乳製品を食卓にお届けしています。



【ホタテ】

野付沖の天然ホタテは、肉厚で味わいが濃厚。うまみの素のグリコーゲンがたっぷり。そんなホタテを使った『ジャンボホタテバーガー』はご当地グルメ

グラップリで3連覇を達成します。
た。○イベントカレンダー

【北海シマエビ】

明治時代から伝わる、打瀬舟(うたせぶね)での伝統的な漁法と風景は北海道遺産に登録されており、漁の時期(6月下旬から7月・10月中旬から11月中旬の2回)には多くのカメラマンが撮影に訪れます。

【西別鮭】

徳川幕府に献上され、幕末までその栄誉をうけていた『西別鮭』。

【別海町産業祭】

9月第3土曜・日曜
10月第1日曜
10月第2日曜
10月第2日曜
【ふゆとびあ】
2月上旬

生でも、茹でてもおいしい新鮮なシマエビを、頭からしっぽまでまるごと揚げている『北海シマエビ天丼』は絶品です。

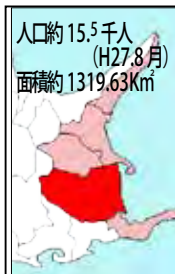
【別海町産業祭】

現在も、伝統製法の「山漬け」や新鮮な「甘塩造り」など、匠の技で仕上げた自

【西別川あきあじまつり】

慢の味を世に送り出している

- 5月3日曜
- 5月第3日曜
- 5月上旬から6月上旬の潮周りのよい土日祝
- 【ホッキ市(本別海)】
- 5月の日曜に1回
- 【別海町ジャンボホタテ・ホッキ祭り】
- 5月第3日曜
- 【尾岱沼えびまつり】
- 6月最終土曜・日曜
- 【別海マルシェ・サンデーブランチャーマーケット】
- 8月下旬
- 【別海町産業祭】
- 9月第3土曜・日曜
- 【別海町、パイロットマラソン】
- 10月第1日曜
- 10月第2日曜
- 10月第2日曜
- 【ふゆとびあ】
- 2月上旬



町の取組み

○移住（新規就農）

「酪農王国」別海町では、新たに酪農を始めようとする人を応援するため、別海町酪農研修牧場で研修生の受入れを行っています。

研修期間は3年間を基本とし、基礎知識・技術・作業の習得や経営能力の養成に向けた学習・実践のほか、農家研修など就農準備もサポートします。

○関心がある方は担当までご連絡ください。
（担当：別海町役場産業振興部農政課）

○北方領土対策

北方領土隣接地域として、国や北海道、各関係団体と連携し、北方領土の早期返還の実現に向けた要求運動・交流活動や情報発信

を推進し、啓発活動に取り組んでいます。

★北方展望塔
（道の駅おたいとう）

野付郡別海町尾岱沼5番地の27（国道244号沿い）
☎0153・866・2449
5月10日・9時～17時
11月4日・9時～16時
休館：年末年始、月曜休
（11月4日※祝日の場合翌日）



に見立てた四本の柱から叫びの像までの距離が16mになっています。

2階は北方領土の歴史や過去の取組みなどをパネル・映像で見ることが出来る展示室となっています。また、3階展望塔からは野付半島や国後島が一望できます。

1階部分は「道の駅おたいとう」で、レストランも併設されています。

○ふるさと会のご案内
東京・別海ふるさと会では、新規会員を募集してお

ります。
（お問い合わせ先）
北海道野付郡別海町別海常盤町280番地
☎0153・75・2111
（内線1623）
Mail: yskou@betsukai.jp

別海町役場産業振興部商工観光課
〒086-0205

Mail: yskou@betsukai.jp

○ふるさと納税（寄付）

別海町を愛し、応援してくださる方々の思いを形にし、個性豊かな活力あるふるさとづくり役に役立てるため、「別海町ふるさと応援制度」を設けています。

また、寄付をしていただいた方の中で希望される町外の個人及び団体の方に、謝礼品（特産品等）を送付しています。

【対象】寄附額が10,000円以上の町外の個人及び団体

【内容】（※同一年度内に1回のみ）

●特産品（次の中からひとつを選択）

①べつつかい乳製品セット

②べつつかいのアイスクリーム屋さん

●広報「べつつかい」（寄附の次月から1年間送付）



皆様からのあたたかい応援をお待ちしております。手続きの方法等については担当までお問い合わせください。（担当：別海町役場総務部総合政策課）

●お問い合わせ
別海町役場 〒086-0205 北海道野付郡別海町別海常盤町280番地
TEL: 0153-75-2111 (代表) FAX: 0153-75-0371

べつかい 別海町の紹介

酪農・漁業・観光のまち 別海町

◆別海町のことがすごい！

その1 広い！
別海町はひとつの町だけで、東京23区の約2倍以上の面積があります。

この広い大地の中で、約1万5千人の町民と約11万頭の牛たちが暮らしています。

その2 おいしい！

北海道の基幹産業は、「農業」と「漁業」。別海はその両方の魅力を併せ持っています。

日本一の生乳生産量を誇ります。



る乳製品をはじめ、大きくて甘い野付のホタテ、明治時代からの伝統漁法で漁をする北海シマエビ、かつて徳川幕府に献上していた西別鮭など、ブランド価値の高い食材が豊富です。

観光スポット

★野付半島

野付半島は全長26kmで、日本最大の砂嘴（さし）海上に長く突き出た地形です。

16km先の北方領土・国後

野付半島は花と鳥の楽園。5月から10月には、セ

ンダイハギやハマナスをはじめ高山植物であるクロユリ等も、高い山を登ることなく見ることができま

★野付半島ネイチャーセンター

野付郡別海町野付63番地
☎0153・822・1270
4月10日・9時～17時
11月3日・9時～16時
年末年始・休館

★別海町観光船

現地のネイチャーガイドが野付半島の感動スポットを案内してくれるネイチャーガイドツアーが人気。コースは目的や所要時間に応じて多彩です。1月3月は広大な雪原を歩くスノートレッキングも実施されています。

野付郡別海町尾岱沼港町232番地
☎0153・862・2533

運行期間：5月～10月
※天気により運休となる場合がございます。

野付の自然を肌で感じる

★冬の景色

春夏秋冬・朝昼夕夜とまったく違った表情をみせる野付半島。
冬期は、湾内が氷結し海の上を歩くことができます。



流水が訪れる時期には、船に乗らずとも流水を間近

で楽しむことができ、流水の下にはクリオネが泳ぐ姿を観察できます。

★風蓮湖(ふうれんこ)

野付半島と同様に、別海町と根室市にまたがる湖で周囲約94km、面積約57.5平方km、汽水湖としては日本

動物や植物が生息し、ラムサール条約登録湿地に登録されています。

★新酪農村展望台

野付郡別海町別海396番地の7(自由展望)



酪農日本一の広大な別海を実感できる新酪農村展望台。

周り一面に広がる緑の大地と大規模な新酪農村の景観360度の大パノラマが広がる。晴れた日には風蓮

湖や阿寒、知床連山も望むことができ一段とその広さを実感できるスポットで

別海町の紹介



島を望むことができ、天気
のよい日には北方領土をよ
り近くに感じられます。
野付半島道路（フラワー
ロード）のほぼ中間に位置
し、海水に浸食され風化し
たミズナラが立ち枯れたま
ま残るナラワラ。
野付半島ネイチャーセン
ターから徒歩30分ほど散策
すると、海水に浸食され風
化したトドマツが横たわる
『トドワラ』にたどり着き
ます。現在も侵食が進んで
いるため、いずれこの光景
も見られなくなるかもしれ
ません。

平成27年8月には、世界
で約400羽しかいないと
いわれている、ヘラシギが
確認されるなど多くの希少
な鳥の安息地にもなってい
ます。



さらに、野付半島では今
までに240種類以上の野
鳥が確認されており、この
数は日本で確認されている
鳥の40%に相当します。国
の天然記念物であるコクガ
シヤ、オオワシ・オジロワ
シ・タンチョウを見ることが
できます。



光船が最適！野生のアザラ
シや、6月中旬〜7月には
北海道遺産の打瀬舟（うた
せぶね）によるエビ漁の様
子を間近で見ることができ
ます。



なら、尾岱沼を出発する観



別海町観光協会公式キャラクター
『別海りよウシくん』

生乳生産量日本一、さらに漁業もさかんな
別海町。
「酪農も漁業も両方PRしたい！」ウシで
あるにもかかわらず、両親の反対をおしきつ
て漁師の道を選んだ『ウシ』で漁師の食いしん
ぼう』別海りよウシくん。
本業の合間をぬって、別海町の観光PR（と
おいしいものめぐり）に奔走しています。

本で7番目に大きな湖で
す。広大なエリア一帯は、
質の高い湿原と森林を持
ち、手付かずの自然が残っ
ています。
このため、数多くの野生
牛の冬期のごほんとなる
で見られるのは、6月下旬
から7月、8月下旬から9
月ごろとなっています。

●別海町の観光情報はコチラから！
別海町観光協会ホームページ <http://betsukai-kanko.jp/>
別海町観光協会フェイスブック
<https://www.facebook.com/betsukai.kanko>

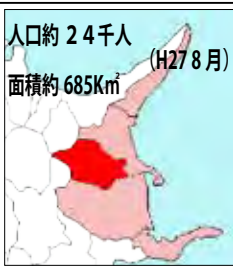
●お問い合わせ
別海町役場 〒086-0205 北海道野付郡別海町別海常盤町280番地
TEL: 0153-75-2111 (代表) FAX: 0153-75-0371

中標津町の紹介

中標津町とは

●生い立ち

標津原野には縄文土器を使ったアイヌの人たちが長い間生活を営んでいましたが、明治34年に区画開放され、明治44年乾定太郎を団長とする徳静団体13戸40人が移住し、開拓の鍬が入りました。その後、北海道の拓殖計画が進み、大正7年には根室原野に2000戸を超えの方が移住しました。ところが、大正末期から昭和初期にかけての世界的经济不況と連年にわたる冷害凶作により離農者が続



出。とくに昭和6、7年の大凶作は、移住後まだ日の浅い開拓農民に徹底的な打撃を与え、生活は悲惨を極めました。この冷害凶作を機に、道は「根釧原野農業開発5カ年計画」を樹立。これまでの穀物主体から乳牛を主体にした主畜農業に切り替えるもので、根室農業は180度転換が図られました。また、昭和12年には国鉄標津線が全線開通して交通の要衝となり、これに伴い産業形態も整ってきました。

その後、人口が増加し、産業の振興が図られるのと合わせて住民世論として盛り上がったのが、役場の所在地問題。中標津はこれまで標津村に属していましたが、役場移転運動が活発になり、やがて分村運動に発展しました。太平洋戦争が

激しくなり一時は立ち消えましたが終戦後に再燃し、昭和21年7月1日に分村が実現しました。住民のたゆまざる努力とたくましいエネルギーによってその後の発展はめざましく、分村後わずか3年余の昭和25年1月1日に町政施行を果たし、奥根室の中心地として着実に発展を続けています。

●地域を支える商工業
根室内陸の中心という恵まれた立地条件にあり、商圏人口は約6万人。大型店や中小の店舗が立ち並び、同じ規模の町としては北海道トップクラスの年間商品販売額を誇り、町に活況を与えています。

●日本最東端の空港
広大な大地と牧歌的な風景、日本最東端の「中標津空港」は、東京から100分、札幌から60分。半径約100kmには知床国立公園、阿寒国立公園、釧路湿原国立公園、網走国定公園などがあり、観光地への玄関口として利用されています。



○特産商品紹介

- ・なかしべつ牛乳・珈琲
- ・飲むヨーグルト
- ・中標津産じゃがいも(伯爵・北あかり・レッドムーン)
- ・標津羊羹
- ・ジエラート
- ・シレットコドーナツ
- ・なかしべつミルキーポー
- ク　ほか



町の取組み

○医療



町内には医療施設は数多く、町立病院のほか民間の内科、整形外科、眼科、小児科、産婦人科、脳神経外科の医院、歯科医院があります。

また、町立中標津病院は、「地域周産期母子医療センター」の認定を受け、安心して子どもを生み育てる環境づくりと、地域に必要な医療体制の充実に努めています。

りが運航され、安心して生活を送ることができます。

○お試し暮らし

中標津町は観光地に囲まれ、商業施設や医療機関も充実した活気のある町です。そんな住みやすさを実感していただくため、「お試し暮らし」ができる施設を用意しています。北海道の大自然の中で、まるで自分の家にいるかのような心地よい生活をサポートします。詳しくは担当までご連絡ください。

○ふるさと会のご案内

東京中標津会
問合せ先：中標津町役場
経済部経済振興課
☎0153・73・3111
<http://tokyo-nakashibetsu.blogspot.jp/>

○ふるさと納税(寄附)

◆寄附者へのお礼

中標津町へのふるさと納税(寄附金)に対する感謝の気持ちと町のPRを図るため、魅力あふれる特産品や体験観光などの「お礼の品」を9月1日から寄附金額に応じて贈呈しています。

詳しくは中標津町ホームページをご覧ください。

◆事業メニュー

- ①景観の保全・整備に関する事業
- ②教育の充実に関する事業
- ③町長におまかせ!
(用途指定なし)

(担当：総務部企画課)

中標津町ふるさと納税HP

<http://www.nakashibetsu.jp/furusato/>

中標津町のご紹介

観光スポット

★開陽台



日本一の酪農地帯といわれる根釧原野より、知床連山武佐岳の裾野につながる、標高270mの小高い丘陵です。全国でも珍しい地平線から日の出を見ることのできる場所、冬期間は地平線から昇る太陽を撮影するため多くのカメラマンが訪れます。また、展望

★摩摩周展望台

イントでありライダーの聖地でもある開陽台への道が有名で、なだらかなアップダウンがアクセントになっています。ここを走れば、北海道の雄大さに感動することでしょう。



全国的に有名な神秘の湖「摩周湖」は、弟子屈町側からのアクセスがスタン

★モアン山

養老牛にある広大な牧草地。「モアン」とはアイヌ語で、その語源は「静かである川」「小さな鷺捕小屋の川」の意。養老牛市街から裏摩周方面へ向かうと山腹に「牛」の文字が刻まれているのが目印。周りには牧歌的風景が広がり、酪農王国中標津を体感する癒しの景観です。

★北根室ランチュウェイ

中標津町から隣接する弟子屈町まで続く、71・4kmもの長距離を歩く日本唯一の酪農ロングトレイルコース。中標津町交通センター

を起点とし、開陽台、レストラン牧舎、養老牛温泉、モアン山、弟子屈町に入り

★遊べる体験観光

酪農地域での乳製品・肉製品づくり体験もおすすです。中標津町畜産食品加工研修センターは、地元産の新鮮な生乳を使ったゴージャズ作りやストリングチーズ作り体験、道東の牛肉を使ったソーセージ作りも体験することができる人気の施設です。



★荒川版画美術館

古いサイロを再利用した外観が特徴的で、中標津町ゆかりの木版画家である松本五郎氏、中標津在住の細見浩氏、故根本茂男氏の版画作品が展示されています。

中標津市街地は利便性に優れ、飲・食・宿全てが徒歩

中標津町の紹介

なかしべつ



「牛乳を集荷するタンクローリーが走る一直線の道」からその名前がついたミルクロードは、中標津町をはじめ、周辺地域に複数存在する道路の総称です。特に中標津町の星座観察ホ

館からは「地球が丸く見える、視界330度の眺望」として豊かに広がる牧場、北海道遺産に登録された格子状防風林、そして遙か北方領土(国後島)までも一望できます。

★ミルクロード

ダードですが、清里町と中標津町の境にある裏摩周展望台も絶好の眺望ポイントです。弟子屈より標高が低いため比較的霧が少なくと言われており、湖面を望めることができる確率は、こちらの方が高いかもしれせん。

★養老牛温泉



中標津町市街地から約27kmの山間に、まるで眠りについているかのような奥深い自然に抱かれた養老牛温

摩周湖の南側を經由して、JR釧網本線美留和駅を終点とするルートで、牧場や大自然の中を歩きます。また、このコースは全部で6つに分かれており、その一部を歩いても、それぞれ楽しめるコースになっています。



★道立ゆめの森公園

敷地は南北約1km、東西に約600m、面積は約54・2haという広大な公園です。広がる牧草地とミッド

○イベントカレンダー
6月
・標津岳・武佐岳山開き

7月
・なかしべつ330。

開陽台マラソン大会
市街地から空港を抜け、爽やかな空気の中牧草を割って延びる長い直線道路を走りま

す。
・中標津神社例大祭

8月
・なかしべつ夏祭り
▼日本一と言われる6000個の提灯やパレード、大平原花火大会は見もので

す。

▼じゃがいも掘り体験をはじめ、地元野菜や乳製品などの即売会・乗馬体験等を開催。

2月

・なかしべつ冬まつり



●お問い合わせ
中標津町役場 〒086-1197 北海道標津郡中標津町丸山2丁目22番地
TEL: 0153-73-3111 (代表) FAX: 0153-73-5333

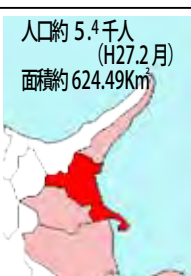
しべつ 標津町の紹介

標津町とは

○標津町について

標津(シベ・ツ)とは、アイヌ語で「シベ・ツ(サケのいるところ)」を意味しています。元禄13年に松前藩から幕府に差し出された絵図には「ちべ内」と記され、鮭を塩蔵して上方や江戸など本州に送る鮭処として拓かれ、明治2年に「標津」の漢字が当てられました。

本町の開基は、明治12年4月で、明治17年には「野付郡茶志骨村」を編入し、同19年に根室支庁管轄となりました。明治34年には「



植別村」(現羅臼町)が分離独立し、大正12年に戸長役場を標津村役場と改称しました。昭和に入ると、6年〜7年の大凶作、昭和12年の標津線開通、戦後の昭和21年に「中標津村」(現中標津町)を分村した後、昭和33年に町制が施行され、本年度町制施行58年、開基138年を迎える北海道では歴史の古い町です。

○産業

日本の食を生産し、日本の食を支える誇り高い水産業と農業を2大基幹産業として発展してきた町です。特に漁業の主力資源である秋鮭については、母なる標津川での誕生、大海原への成長の旅、母川回帰(そ上)産卵のサイクルにより過去に何度も水揚げ量日本一になるなど、日本有数の

鮭処です。また、食の安全・安心の強化や資源価値を最大限に高めて市場へ送り出すために早くから地域HACCAPを推進するなど、町民と行政の協働による積極的な取り組みが展開されています。

○食

標津の前浜には毎年流水が豊富なプラシクトンを運んでくるため、これを餌として味・栄養価の面から高品質な魚介類が獲れます。さらに、高い品質を保つため地域HACCAPによる徹底した衛生管理を推進し、国内はもとより海外へも食の提供を展開しています。また、余すところのない食材として知られる秋鮭は、チャンチャン焼きをはじめ多くの調理法があるほ



か、船上一本鮭を活用し、新しい食の開発・研究も月

- ・サクラマス 5月〜8月
- ・ホタテ 12月〜7月
- ・北寄貝 12月〜5月

○標津町みどころ30選
標津町では、3つの「み(見・味・魅)」からなる「みどころ30選」を選定しています。

積極的に行っています。
※しべつ旬の味覚情報

- ・秋サケ 9月〜11月
- ・鮭児 10月〜11月
- ・トキシラス 5月〜7月
- ・カラフトマス 7月〜8月

- ・北海シマエビ 7月・10月
- ・コマイ・マダラ・スケトウダラ 12月〜2月



町の取組み

○人口減少時代に挑戦する政策。ハッケージの実践

標準町では、大きくは3項目、30事業から成る人口対策政策により、各ライフステージにある町民の皆様への生活を応援し、暮らしやすいまちづくりを推進しています。



○移住・交流

「家を建てて住んだら土地は無料」を謳い文句に実施した宅地分譲事業「標準美郷団地」をはじめ、「10年住んだら家も土地も無償譲渡」の「定住促進住宅」など、移住・定住を促進してきました。この他にも「川北地区の宅地分譲」、「空き

家・空き地バンク」によるマッチング、「移住相談員」による移住後のアフター

フォローなど移住定住政策を随時推進しているのをご質問等ございましたら担当窓口までご連絡ください(標準町企画政策課)。また、町のホームページ等、ウェブサイトにしても情報発信しておりますのでご確認ください。

○北方領土対策

北方領土隣接地域として「北方領土返還要求運動」に積極的に参加するとともに、自らも「北方領土講座」を継続して開催するなど啓発運動に努めています。北方領土問題の解決のためにはロシアとの外交交渉を粘り強く継続していく必要があり、今後の返還運動を推進していくためには、これ

まで先頭に立つてきた元島民の意志を引き継ぐ後継者の育成が大変重要であることから、後継者対策、正しい知識と歴史認識、活動への理解を深めるための啓発事業を展開しています。

○ふるさと会のご案内

札幌標準会の連絡先
〒055-0824
札幌市南区南沢4-4-13
3 松原事務局長
☎011-571-8024
Mail: sainken@junoo.cn

ne.jp

・東京標準会の連絡先
〒167-0033
東京都杉並区清水3-7-16
水田会長
☎03-5382-7834
Mail: eikomama_2000@yahoo.co.jp

○ふるさと納税

標準町では、まちづくりを応援していただける町外の皆様からご寄付をいただき、その目的を達成するために有効に活用させていただいております。魅力ある標準町のまちづくりのため「ふるさと標準町」への温かいご支援をお願いします。

○事業メニュー

- ①安全で安心な食料を供給する「ふるさとの高い生産力への応援」
- ②地域の資源と魅力を活用する「活力あるふるさとへの応援」
- ③質の高い環境・景観・文化を守る「美しいふるさとへの応援」
- ④心豊かに愉しく学べる「笑顔輝くふるさとへの応援」
- ⑤その他「魅力あるふるさとづくりへの応援」

○寄付へのお礼

標準町ふるさと納税のお礼と町特産品のPRを図るため、寄付額に応じて標準町の特産品を贈呈しております。また、希望者へふるさと応援町民証の発行や広報しべつ、ふるさと応援町民情報毎月お届けさせていただきます。詳しくは標準町財政課財政担当までご連絡願います。

標準町のご紹介

●お問い合わせ
標準町役場 〒086-1632 北海道標準郡標準町北2条西1丁目1番3号
TEL: 0153-82-2131 FAX: 0153-82-3011

しべつ 標津町のご紹介

世界自然遺産「知床」の南玄関口
感動体験の地 標津町



観光スポッポット

◆標津町概要

で活用されています。



標津町は、世界自然遺産知床の玄関口、目の前24kmの根室海峡洋上には北方領土国後島が浮かびます。左は知床半島を一望、右にはラムサール条約登録湿地の野付半島が位置するなど世界が認めた自然の宝庫です。



★ポー川史跡自然公園

国指定天然記念物の標津湿原は、自由ゆつたりと蛇行しながら流れるポー川の周囲に広がる広大な湿原です。公園では、雨露を蓄えながら、小さくても力強く可憐な花を咲かせる湿原植物や、北方文化を担った人々が創り上げた、竪穴式



★金山溪谷



忠類川の上流に位置する金山溪谷は、四季折々の美しい景観を醸しており、訪れる人の目を楽しませてくれます。

★忠類川サーモンフィッシュ
★標津町民まつり水・キラリ(8月第1週の土日開催)
きます。



豊かな自然環境を100年後の未来に継承していこうという理念により、「水」をテーマとして平成11年に新たな伝統の祭りがスタートしました。

には長蛇の列ができ、あきあき大漁つかみどりレースには参加者が殺到など、味覚や賑わいのイベントが盛り沢山です。

★漁業体験
標津町では、荷揚げや朝の市場見学、イクラづくりや新巻鮭づくりなどの加工体験をおして、食品の安全性を確保するための標津町地域HACCPシステムを学ぶことができます。



海・山・川・大平原が織り成す豊かな大自然とともに、行政と町民の積極的な協働によるまちづくりの取り組みなどから、「日本で最も美しい村連合」に加盟しています。

★北方領土館

北方領土館は、昭和54年社団法人北方領土復帰期成同盟により、北方領土返還運動の推進、啓発の施設として建設されました。また、知床・ノサップラインのちようど中央に位置し、網走管内にも通じるルートを擁していること、北方領土国後島まで直線距離で24キロの最も近い位置にあることから標津町に設置されました。

住居跡群の景観を見ることができま



★標津サーモン科学館

標津サーモン科学館は、世界に生息しているサケの仲間18種30種類以上を展示する「サケ」の水族館です。サケの誕生から産卵まで、サケの不思議な生態を季節ごとの行動展示により観察でき、サケにまつわる食文化やアイヌ文化も同時に学ぶことができます。教育活動も推進しています。

ング

知床半島の付け根に位置する忠類川は、平成7年に全国で初めてサーモンフィッシングが可能になりました。平成26年にはサーモンフィッシング20周年を記念して、忠類川サーモンダービーが開催されました。さけますの有効利用と河川管理を兼ねて、国内スポーツフィッシングのモデル的な河川となつています。



★四角い太陽

海面近くの暖かい空気に冷えた空気が乗り、光が屈折することで四角い太陽に見える神秘的な現象が、標津町で極稀に見ることが

共有する数々の催し、町全体が一体となり喜びと感謝を表す5基の山車と踊り手等による勇壮な巡行が行われます。

★しべつあきあじまつり



毎年9月最終日曜日にサーモンパーク広場で開かれ、標津の秋の味覚を堪能できます。朝獲り秋鮭の激安販売や、標津さけ定置漁業部会によるイクラ丼の無料提供

★海の公園

海の公園には、キャンプングカー等の大型車にも対応している広々としたオートキャンプ場があります。また、釣突堤では標津前浜の四季折々の魚たちを釣ることができ、磯遊び場では、小魚やカニ、貝などの水産動植物と触れ合うことができます。



標津町の紹介

らうす 羅臼町の紹介

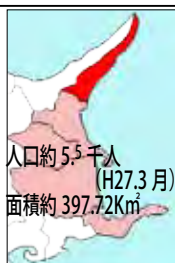
羅臼町とは

○羅臼町について

町名の「羅臼」はアイヌ語「ラウシ」(獣の骨のある所の意)から転化したものです。この地一帯はアイヌの狩猟の地であったためこの名が起ったと言われています。

明治12年標津ほか6村戸長役場の管轄に属し、同34年これから分類して植別村戸長役場を設置、大正12年4月二級町村制施行、村名を植別村とした。昭和5年7月羅臼村と改称し、同36年8月町制を施行しました。

羅臼町は、知床半島の南



人口約5.5千人 (H27.3月)
面積約397.72Km²

東側に位置し、標高738mの知床横断道路頂上からは、高くそびえる羅臼岳の雄姿を望み、眼下には北方領土の国後島が横たわっており、国後島までの距離は、近いところで25kmしか離れておらず、天気の良い日には手が届くように感じられます。

観光では、道天然記念物のヒカリゴケや熊の湯温泉など、多くの観光資源に恵まれた町で、流水の訪れとともにオジロワシ・オオワシの飛来の地でもあります。

また、羅臼沿岸にはクジラやイルカなど海生哺乳類が回遊し、日本でも屈指のホエールウォッチングの町です。



産業は漁業が中心で、秋サケ定置網漁やスケトウダラ漁、昆布漁など資源が豊かな漁業の町です。

世界自然遺産知床に位置する羅臼町はオホーツク海に面し、流水がやってくる世界最南端の地域で、この豊かな海洋生態系と

知床連山の原生林からなる陸の生態系は川でつながり、海と山の生き物が相互に密接な関係をつくり、オオワシやシマフクロウといった絶滅危惧種に指定された動物が生息しています。さらに国立公園に指定された場所が多く、国の法的整備により環境が守れる体制が整っていることが評価され、2005年に知床は世界自然遺産に登録されました。

9月 らうす漁火まつり、秋まつり

○ふるさと会のご案内
東京らうす会の連絡先
〒235-0033
横浜市磯子区杉田3-14
20 東京らうす会事務局
田中かず子
☎045-774-7047
mail: mtanaka@yokohama.ennai.ne.jp

○イベントカレンダー
2月 オジロまつり
4月 雪壁ウォーク
6月 知床開き

町の取組み

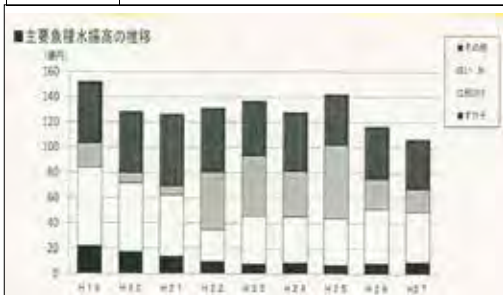
取組の関連情報として、平成26年度・27年度の羅臼町町勢要覧資料編から、主

一 出来事 (平成27年度) 一

年月日	羅臼町に関する主な出来事
H27. 4. 1	知床羅臼町観光協会法人化、一般社団法人へ
H27. 4. 8	羅臼町地域おこし協力隊専属交代式
H27. 4. 24	稚駒町海岸10メートル超超暴風、近くで大規模崩落
H27. 4. 27	渡邊聖氏が羅臼町長に就任
H27. 7. 4	知床国立公園指定50周年・世界自然遺産10周年記念式典
H27. 7. 12-13	ミラノ万博で羅臼産物の魅力PR
H27. 10. 16	ラウスツノナガモエビ新種認定
H27. 12. 1	羅臼町ふるさと納税産物品制度開始

一 出来事 (平成26年度) 一

年月日	羅臼町に関する主な出来事
H26. 6. 1	「知床国立公園」指定50周年を迎える
H26. 6. 8	三國清三シェフが「羅臼昆布・うに大使」に就任
H26. 8. 7-10	町内の若者の有志による「第1回しれとこ羅臼こんぶフェスタ」開催
H26. 9. 20	羅臼高等学校が「高校生チャレンジプロジェクト in HOKKAIDO」において2連覇達成
H26. 12. 17	爆弾低気圧の影響により町内で333件の高潮被害発生
H27. 2. 2	観測以来最大の積雪179センチを記録、自衛隊へ災害派遣要請
H27. 3. 4	羅臼町公民館が「第67回優良公民館表彰」にて「優秀館」を受賞
H27. 3. 15	海岸町コミュニティセンター完成



な出来事を抜粋した。ちなみに、平成26年6月8日の三國清三シェフ「羅臼昆布・うに大使」就任式は北海道倶楽部が後援した。三國清三シェフ in 知床ら「うす」のイベントにおいて行われたもので、松田倶楽部会長ほか倶楽部理事も数人参加した。

また、同資料から町の重要産業の資料「主要魚種の水揚げの推移」を掲載します。

○ふるさと納税
寄付金を財源として、寄付者の社会的投資を具体化することにより、寄付を通じた住民参加型の地方自治を実現し、個性豊かな活力あるまちづくりを資することを目的に、町内外の皆様へ「寄付」という形でまちづくりにご参加いただいております。皆様の温かいご支援をお待ちしています。

なお、平成27年12月1日よりご寄附いただいた方へ、羅臼町の魅力と思いの詰まった返礼品を感謝の気持ちとしてお送りさせていただきます。

(担当：まちづくり課)

- 事業メニュ
- ①地域資源を活かした活力ある産業のまちに関する事業
- ②一人ひとりが輝ける地域医療、保健、福祉、介護のまちに関する事業
- ③自然環境に配慮し安心安全に暮らせる快適なまちに関する事業
- ④豊かな心身を育み、明日へとはばたくまちに関する事業
- ⑤持続的な行財政運営ができるまちに関する事業
- ⑥その他目的達成のために町長が特に必要と認める事業

詳しくは、羅臼町ホームページまたはふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」をご覧ください。

羅臼町の紹介

世界自然遺産の町 羅臼町

観光スポット

◆羅臼町の観光 世界自然遺産の町 羅臼町は、目の前広がる「魚の城下町」と言われるほどの豊かな海です。は、今やホエールウォッチング、バードウォッチングの聖地です。

また、後ろに控えている知床連山は、本格的な登山やトレッキングを楽しめる山のまちでもあります。町内には温泉もあり、疲れた体を癒すにはもってこいの環境が整っています。



★羅臼国後展望塔
中心市街にほど近い海抜167mの-high台にあり、眼下に羅臼漁港、根室海

やそのつながりについて、パネルや写真で紹介しています。また、登山やシーカヤック利用者にルールやマナーのレクチャーをすることで、事故防止や環境保全に努めています。

★クジラの見える丘公園

世界でも稀な、丘からマッコウクジラを観察できる場所です。時期によってはシャチやイルカが見えることもあります。

★熊越の滝



熊が滝を越えて往来したことからその名前が付いたこの「熊越の滝」は、滝の

5つの沼が存在し、それぞれ一沼から五の沼と名前が付けられています。三の沼では、雄大な羅臼岳を湖面に映し出し、訪れた人を魅了します。羅臼湖までの道のりは、ハイマツや高山植物を見ながら軽登山の心持ちで出かけましょう。

★知床峠

国道(334号) 羅臼町



★熊の湯

羅臼町の「熊の湯愛好会」の方々が管理しており、いつも綺麗な温泉です。利用するときは脱衣所(男女別)に掲示してある注意書きをよく読んでからご利用ください。

夏場は多くの観光客が訪れますが、冬場でも入浴でき、雪見の湯としても素晴らしいです。入浴は無料。

★セセキ温泉

「北の国から2002遺言」で純が入った温泉として有名になった温泉です。



峡の向こうには雄大な国後島を一望することができま

す。また、館内には北方領土問題を解説したパネルの展示コーナーを設置して

います。★ホエールウォッチング 夏は、体長15mを超えるマッコウクジラが国後島を背景に豪快に潜水します。その他、



生物と陸の生物との生態系

★ホエールウォッチング 夏は、体長15mを超えるマッコウクジラが国後島を背景に豪快に潜水します。その他、

生物と陸の生物との生態系



落差は15mで水量も多く、知床の自然を充分に堪能できる人気のスポットです。国道334号から森の中を通つてちよつと奥まったところにあるので、歩きやすい靴でお出かけください。★羅臼湖(写真)環境省提供

知床半島で一番大きな湖で、深い原生林に囲まれた神秘的な湖です。周辺には、深い原生林に囲まれた神秘的な湖です。周辺には、



冬は数メートルの積雪となり、横断道路はおおむね11月上旬から4月



と斜里町ウトロを結ぶ知床横断道路の峠(標高738m)。北側には羅臼岳、東側には国後島を見渡せまると海面に沈みます。

野湯ではありますが、羅白町が近隣の漁業者者に管理を委託しています。利用の際には昆布番屋の前を通るため、入る前に管理人に一声掛けてから入りましょう。入浴は無料。冬期は閉鎖。

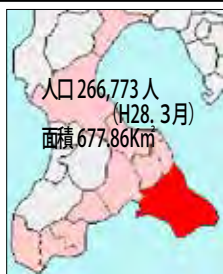
函館市の紹介

函館市とは

○函館市について

函館市は、渡島半島の南東部に位置し、東・南・北の三方を津軽海峡に囲まれ、西は北斗市・七飯町・鹿部町と接したまちです。

我が国最初の国際貿易港として、いち早く海外に門戸を開き、自由かつ達・進取の気概を持って、新しい知識や技術を吸収し、固有の文化をはぐくみながら、市民有志が共に手を携え、社会事業や教育事業などを立ち上げ社会に貢献し魅力を高めてきたまちです。



○地名の由来について

室町時代の享徳3年(1454年)、津軽の豪族河野政通が宇須岸(ウスケシライヌ語で湾の端の意)と呼ばれていた漁村に館を築き、この館が箱に似ているところから「箱館」と呼ばれることになりました。明治2年蝦夷が北海道となり、箱館も函館と改められました。

○食について

三つの海流が流れ込む周辺の海域は、一年を通していろいろな海の幸が水揚げされる宝庫です。また、北海道の中でもいち早く春が訪れ、さまざまな農産物がつくられています。

【真イカ(スルメイカ)】

市の魚にもなっているイカは全国屈指の水揚げを誇り、透きとおったコリッポりのイカ刺しが絶品です。

他にも、塩辛、さきいかなどの加工品も有名です。

【昆布】

生産量が日本一の昆布。かつて朝廷や将軍家にも献上されていた「真昆布」は、甘みのある良質な澄んだだしがとれることで非常に高い評価を得ています。

【マグロ】

津軽海峡の対岸、大間のマグロを抑え、築地市場の初競りで最高値を記録したこともある「戸井マグロ」は、船上での活〆など、漁師こだわりの優れた処理技術によりブランド化された極上の逸品です。

【その他の美味な食】

ウニ、アワビ、ホッケ、タコなどの新鮮な海産物はもちろん、馬鈴薯、人参、大根、アスパラなどの大地の恵みも豊富に味わえます。

○イベントカレンダー

- 【夜桜ライトアップ】・・・4月下旬～5月上旬
- 【箱館五稜郭祭】・・・5月中旬の土日
- 【恵山つじ祭り】・・・5月中旬～6月下旬
- 【南かやべひろめ舟祭り】・・・6月上旬
- 【函館マラソン大会】・・・6月下旬
- 【はこだて花と緑のフェスティバル】・・・6月下旬
- 【函館西部地区バル街】・・・春と秋
- 【市民創作函館野外劇】・・・7月中旬～8月中旬
- 【函館港花火大会】・・・7月中旬の日曜日
- 【はこだて国際民俗芸術祭】・・・8月上旬
- 【函館港まつり】・・・8月1日～5日
- 【はこだてグルメサーカス】・・・9月上旬
- 【はこだてMOMI-G(もみじ)フェスタ】・・・10月下旬～11月上旬
- 【はこだてクリスマスファンタジー】・・・12月1日～25日
- 【はこだて冬フェスティバル】・・・11月下旬～2月末日
- 【五稜星の夢】・・・11月下旬～2月末日
- 【函館港イルミネーション映画祭】・・・12月上旬
- 【恵山ごっこ祭り】・・・2月上旬



市の取組み

○移住の取組み

函館市では、移住を検討されている方の相談や問い合わせに対応するとともに、移住後の暮らしのサポートを行う移住相談窓口「移住サポートセンター」を函館市地域交流まちづくりセンター内に開設しています。

(問合せ先：0138・22・9700)

函館生活がより快適で、豊かになるよう情報を伝えるとともに、函館市内をスナップと一緒に歩きながら生活環境をイメージしていただく「まちなか案内人制度」も実行しているほか、移住後には、実際に移住された方からのアドバイスを聞くこともできる交流会など

を行っています。

また、移住を検討されている方へのパンフレットとして「函館暮らしが이드」を製作しているほか、住んでみてわかる函館の魅力や暮らしを体験することができる「ちよつと暮らし」(移住体験施設) 事業を行っており、ウィークリマンションなどを紹介しています。

東京都内においても、有楽町駅前の東京交通会館内「ふるさと回帰支援センター」に、函館市の展示パネルブースを開設し、就職情報や住宅情報など暮らしに関わる様々な情報を展示するとともに相談対応もしていますので、気軽にお問い合わせください。
(問合せ先：03・6273・4401)

○ふるさと会のご案内

ふるさと会は、函館の出身者や函館にゆかりの方々が「函館」を絆として集い、親睦を図る団体であり、東京やその周辺に居住する道南出身者や縁故者で構成される「北海道道南会」、同じく、関西地区を中心とした「関西函館をおもう会」や仙台地区を中心とした「宮城県函館臥牛会」などがあります。

本年2月に行われた「北海道道南会」および「関西函館をおもう会」の各新年総会において、函館市から、それぞれの会の活動を通じて、故郷函館の発展に貢献いただいた方への感謝状を贈呈しました。

* * *

○ふるさと納税(寄附)

函館市では、函館を応援し、ふるさと納税という形でまちづくりに参加していただける方を募集しています。

◆事業メニュー

ふるさと納税していただく方の意向を可能な限り反映するため、次のメニューを選択していただける仕組みとしています。

- ① 未来のまちのために (人材育成・生涯学習の推進など)
 - ② やさしいまちのために (児童・高齢者・障がい者福祉の推進など)
 - ③ 快適なまちのために (健康づくり・防災対策の推進など)
 - ④ 美しいまちのために (環境保全・景観形成など)
 - ⑤ 元気なまちのために (産業の振興など)
 - ⑥ 函館市全体を応援したい(使途を指定しない場合)
- ◆寄附者へのお礼
翌年度、寄附金の活用報告をさせていただく際に、1万円以上のふるさと納税をしていただいた方には、函館市特産の水産加工品等を送付いたします。
- ◆お申し込み・お問合せ
(担当：財務部管理課0138・211・3204)

函館市のご紹介

はごたて

函館市のご紹介

観光スポット

【函館山】

100万年ほど昔の火山活動でできた山です。豊富な種類の植物や野鳥のさえずりを楽しみながら登ることがができます。頂上へはロープウェイや観光バスなどでも行くことができます。

○函館山からの眺望



【元町エリア】

教会や歴史的建造物が坂道に並ぶ古き良き函館の姿を見ることができます。

○八幡坂



海に向かって真つすぐ伸びる大きな坂道です。坂の上から海側を見ると、路面電車が横切る様子や、海に浮かぶ旧青函連絡船摩周丸

メやショッピングを楽しむ場所としても人気があります。



【五稜郭エリア】

かつて箱館戦争の舞台となった五稜郭公園のほか、美術館や図書館もあり、歴史や文化を学べるエリアです。

○五稜郭公園

○箱館奉行所

幕末の箱館開港により設置された江戸幕府の役所です。当時元町地区にあった奉行所は、五稜郭完成後、城内に移転しました。140年の時を越え、平成22年に復元されました。箱館戦争の歴史やゆかりの人物を紹介しています。



【恵山エリア】

○恵山



国宝に指定された「中空土偶」がある博物館です。函館市内で発見された土器や石器、装飾品などを展示しており、縄文時代の生活や文化を感じることができます。



■路面電車

谷地頭（やちがしら）・函館とつづく湯の川間を走る路面電車は函館市内の移動手段の一つです。4月から10月にかけては、レトロな外観が魅力的な「箱館ハイクララ號」が運行し、人気

函館市のご紹介

はこだて



昼間は左右に広がる大きな海、夜はまるで宝石がちらびめられたような街の灯りが楽しめます。「ミッシュラン・グリーンガイド・ジャポン」で三つ星として掲載されました。

○立待岬

函館山の端にあり、目の前に広がる津軽海峡と曲線的な海岸線が美しい絶景ポイントです。

を眺めることができます。

○旧函館区公会堂

函館港を見下ろす高台に建つ、ブルーグレーとイエローの外壁が特徴的な建物です。館内の装飾は明治時代の華やかな雰囲気をもつままに残っています。



【ベイエリア】

心地よい海風が吹く函館港沿いのエリアです。グル



元治元年（1864年）に完成した国内初の西洋式城郭です。現在は春の桜や冬のイルミネーションなど、四季を通して憩いの場として親しまれています。隣接する五稜郭タワーの展望台からは、星型の五稜郭公園を一望できます。



たくさんの高山植物ときれいな空気に恵まれた標高618mの活火山です。美しい景色を眺めながら登山できます。

【南茅部エリア】

○函館市縄文文化交流センター
北海道唯一の

函館市の観光は、
函館市公式観光情報サイト
「はこぶら」で検索！
<http://www.hakobura.jp/>



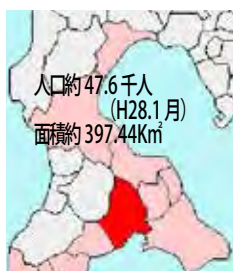
を集めています。

●お問い合わせ
函館市役所 〒040-8666 北海道函館市東雲町4番13号
TEL 0138-21-3111 (代表) FAX 0138-23-7604

ほくと 北斗市の紹介

北斗市とは

平成18年2月1日、上磯町と大野町とが合併し、「北斗市」が誕生しました。「北斗市」という名前には、「北の空（大地）にさんざんと光り輝く星（街）（北斗星）。ほかの市町村の範となると同時に、個性を失わず独自の輝きをもつ街づくり」との思いが含まれていて、「北斗とは小さな星がかたまりあつて一つの核をなすともいわれていて、上磯町と大野町の輝かしい二つの星が一つの北斗をつくり上げ、これから立派なまちづくり



を進めていこう」という願いが込められています。



○歴史

北斗市は平成28年3月26日に開業した北海道新幹線新函館北斗駅があるまちです。函館市に隣接しながら、海と山の魅力を気軽に味わうことができます。

気候は対馬暖流の影響を受け、海洋性となっていて、道内にあつては降雪量が少なく、比較的温暖で暮らしやすい地域となっています。

ます。

〈上磯町の歴史〉

上磯町は、文化2年（1805年）、清川地域に約15haの水田が拓かれ、農耕が始まりました。

明治13年（1880年）、上磯村を中心として谷好村、富川村、中野村、吉田村を範囲とした上磯村ほか4か村戸長役場が設置され、自治制が施行されました。

その後、大正7年に町村を施行し、昭和30年4月、隣接の茂別村と合併しました。

農業と漁業が産業の中心だった上磯町でしたが、地理的条件に恵まれていることから、明治23年にセメント工場、昭和3年には石油精製工場ができるなど、工業が中心の産業となり、さらに、昭和59年にテクノ

ポリス函館の地域指定を受け、企業誘致を積極的に推進したことで、新たな製造業や運輸・通信業の立地が進み、農漁村型から都市型に変わってきました。

また、商工業の振興と併せて、都市近郊型農業や養殖漁業への転換を推進し、都市と農漁村が調和のとれた田園工業都市として発展を遂げてきました。

大野町は、北海道における水田発祥の地として知られ、1600年代に松前藩主の命により文月地域で米の試作が行われ、元禄5年（1692年）に「産米十俵を収穫した」という記録が残されています。

明治13年、大野村を中心として市渡村、本郷村、文月村、千代田村、一本木村を範囲とした大野村ほか5

か村戸長役場が設置され、自治制が施行されました。

その後、明治33年に6村が合併し、大野村として一級町村の指定を受け、昭和32年には町村を施行しました。

平坦な土地と温暖な気候に恵まれた大野町は、大河川をはじめ、国営総合かんがい排水事業などにより水利にも恵まれ、水田経営を主体とした農業の町として発展してきました。

昭和59年にテクノポリス函館の地域指定を受け、さらに昭和61年、農村地域工業導入手促進法に基づく工業団地の造成により企業誘致に力を入れるなど、近年では、農業と工業の調和のとれた田園工業都市として着実な発展を遂げてきました。

市の取り組み

○新幹線開業後のまちづくり

平成28年3月26日に北海道新幹線の始発・終着駅となる新函館北斗駅が開業しました。北海道の玄関口、



道南の交通拠点として開業効果が広く道南全域に及ぶよう様々なまちづくりを推進しています。

★新駅のコッセプト

新函館北斗駅は、「自然と共に呼吸(いき)する」をコンセプトに造られています。外観は、ガラス張りの近代的なデザインを採用しながらも、内装は天井部分に道南杉を用いるなど、温かい雰囲気を出しています。

★駅前開発

新函館北斗駅前には、公園や普段はス

ポーツコートや散策路として利用できる調整池を設置するなど、新駅を訪れる方々の憩いの場としても利用できます。

ホテルやレストラン、レンタルカー会社などが進出してまいります。今後も全力で企業誘致に取り組んでいきます。

★北斗市へお越しく下さい!

北海道新幹線開業でますます伸びゆくまち、北斗。東京からは約4時間、仙台からは約2時間30分とあつという間にお越しいただけます。

北斗市のさまざまな魅力で、皆さんをおもてなしたいと考えていますので、ぜひ北斗市へお越しください!

ふるさと会のご案内

で構成されています。入会を希望される方は担任に在任する北斗市出身者とい。北斗市にゆかりのある方々(担当：市民課)

○ふるさと納税(寄附)

市では、皆様のふるさと「北斗市」をより元気にするため、これまでのまちづくりを継続するとともに、平成27年に総合戦略を策定し、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立、その好循環を支える「まち」に活力を呼び戻す事業に取り組んでおります。北斗市の事業と一緒に支え、これからの活力ある地域づくりを応援してください。皆様をお待ちしております。

【事業メニュー】

- ①北海道新幹線を活かした産業の振興と雇用の場をつくる事業
 - ②北斗市らしさを活かして人を呼び込み・呼び戻す事業
 - ③子どもを生み、育てたいという希望をかなえる事業
 - ④住み続けたいという暮らしの環境をつくり守る事業
- 【寄附者へのお礼】
魅力ある北斗市のさらなるPRを図るため、寄附のお礼としてささやかではありますが、北斗市の特産品をお送りしています。詳しくは北斗市公式ホームページをご覧ください。

北斗市のご紹介

観光スポッ

○灯台の聖母 トラピスト
大修道院

正式名称は「厳律シトー
会灯台の聖母大修道院」。
明治29年（1896年）、
フランスから9人の修道士
たちがこの地を訪れ、日本
最初の男子トラピスト修道
院を創立しました。

修道院内では修道士たち
が自給自足の生活を送って
います。院内にある資料展
示室や売店、修道院から徒
歩30分ほどのところにあ
るルルドの洞窟が見学自
由。院内施設は男子のみ見
学可能（要・事前申込）と
なっています。

売店では、修道院でつく
るトラピストバターやクッ
キーを購入でき、そのバ
ターを使ったソフトクリー
ムは濃厚で人気の商品と
なっています。

まきじき高原には、キャ
ンプ場やカタクリの群生地
など、さまざまな見どころ
があります。高原の南側か
らは津軽海峡と函館山の眺
めを楽しめ、平野を見下ろ
す眺めはまさに絶景。また、
テントのほかバンガローが
設置されているので、気軽
にキャンプやアウトドアも
楽しめます。周囲には公共
育成牧場があり、のんびり
草を食む牛の姿も見られま
す。

また、昨年4月にはパノ
ラマ展望台もグランドオー
プンし、まきじきからの絶
景をさらにお楽しみいた
だける環境を整えています。
パノラマ展望台は標高
560mの所にあり、函館
山はもちろんのこと、大野
平野、横津連峰、噴火湾、

堀などの遺構が残ってい
て、現在は国指定史跡と
なっているなど、歴史的価
値の高いスポットです。

また、松前藩戸切地陣屋
跡は桜の名所にもなってい
ます。毎年5月の上旬にな
ると、長さ約800mの並
木道におよそ300本のソ
メイヨシノが咲き誇り、見
事なピンク色のトンネルが
できあがります。

さらに、満開時期を過ぎ
る頃には散った桜が地面を
覆い、桜色のじゅうたんが
敷き詰められます。



○法亀寺

北斗の桜スポットとして
は、法亀寺も有名です。法
亀寺は嘉永2年（1849
年）、篤信家・中村金兵衛
の願いで、箱館・実行寺第
十五世金子日能師が、大野
村東下町に法亀庵（ほつき
じ）として許可
されたと始
まりとされて
いて、このお
寺の境内のシ
ダレザクラが
毎年美しい花
を咲かせてい
ます。

法亀寺のシ
ダレザクラ
は推定樹齢
300年、高
さ12mで枝振
りが大変よく、
垂れ下がった
枝いっぱい
花が咲くと大



変見応えがあります。明る
い昼間は勿論ですが、夜の
ライトアップされたシダレ
ザクラも見応え十分。北海
道でこれほど大きく育った
シダレザクラは大変珍し
方もいらつしやいます。

北斗市の紹介

また、皆さんご存知の童謡「赤とんぼ」の詩は、大正時代の4年間、修道院の文学講師を務め、トラピストの丘に住んでいた三木露風によってつくられました。



○きじひき高原
北斗市の観光名所の一つであるきじひき高原。「きじひき」という名前は、春先に木を切り出した際に雪解け水とともに丸太を滑り落としていたことに由来し

大沼、駒ヶ岳を一同に見ることができません。天気の良い時は、青森県の下北半島や、室蘭方面、羊蹄山も見ることができません。



○松前藩戸地陣屋跡
箱館港の開港にともない蝦夷地の防衛を強化するために、松前藩が構築した日本最初の洋式築城です。明治元年（1868年）の箱

館戦争で榎本軍の攻撃を受け、守備隊により自焼・放棄されましたが、土塁や外

○北海道水田発祥の地
北海道の美味しいお米は有名ですが、北斗市は北海道水田発祥の地としても有名です。

元禄5年（1692年）に野田作右衛門が米10俵を収穫したとの記録に基づいて、碑が建立されました。これは現存する記録の中で、北海道の中で最古の記録となっています。

現在でも、北斗市は北海道を代表する米どころであり、道産米の宝庫。最もおいしいとされる特Aレベルに認定されている「ふっくらりんこ」もたくさんつくられています。



平成28年3月26日に北海道新幹線が開業した北斗市の「いいところをPRしていくために、情報発信を研究の柱と」する地元の大学「公立はこだて未来大学」と協働で、市の公式キャラクター「ずーしーほっきー」が誕生しました。北斗市の特産のホッキ貝とお米「ふっくらりんこ」からなるイキモノです。

「ずーしーほっきー」は、誕生以来、北斗市宣伝隊長を自認していましたが、その活躍が認められ北斗市宣伝隊長に就任。北斗市職員などからなる北斗市宣伝隊を率い、北海道のみならず全国を飛びまわり、日夜PR活動に励んでいます。

その活動内容は、フェイスブックページ「ずーしーほっきー official」にアップロードしていきますので、ぜひご覧ください。



・ずーしーほっきー official <https://www.facebook.com/zushihocky/>

●お問い合わせ
○北斗市役所 〒049-0192 北海道北斗市中央1丁目3番10号
TEL: 0138-73-3111(代表) FAX: 0138-73-6970

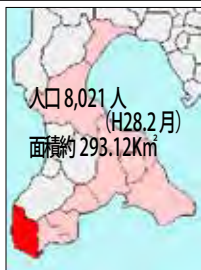
まつまえ 松前町の紹介

松前町とは

○松前町とは

北海道の最南端に位置する当町は、今から約800年前の鎌倉時代に和人が移住し、アイヌ民族との雑居が始まったと言われていま

す。松前藩が蝦夷地を統括するに至り、以後、北海道唯一の城下町として繁栄を築き、藩政期には政治・経済



文化の中心地として、幕末の頃には人口3万人を数える蝦夷地第一の都市として発展してきました。

しかし、明治4年の廃藩置県によって松前藩は消滅

し、開拓使の本庁が札幌に置かれたことにより、本道の政治・経済の中心が道央へ移りました。人口は減少し、やがては城下町から漁業の町へと大きく変貌して

はじめ全国各地からの真心のこもった多額の寄付金をもとに松前城が再建され、現在、松前町民の文化の誇りとシンボルとして受け継がれております。

藩政時代、松前藩の主要産業として「松前の春は江戸にもない」と言われるほどの盛況を示していたニシン漁も、大正初期には幻の

当時の松前町・大島村・小島村・大沢村の1町3村が合併し、現在の松前町が誕生しました。

魚となつてしまい、この代替漁業としてイカ釣り漁業が本格化し、本州や道内各地から漁業者が多数押し寄せ、その数は地元操業者を上回り、活況を呈しました。

○町名の由来
「万堂宇満伊犬(まどうまいぬ)」という地名、アイヌ語の「マツ・オマイ」「マト・マイ」(婦人の居るところ)というところから、

昭和24年6月、深夜に発生した火災により、国指定史跡松前奉行所跡にあつた松前町役場庁舎と国宝松前城(史跡福山城)の二つの

重要建造物を焼失しました。昭和35年11月に町民を

○鮮度が自慢「松前本まぐろ」

松前では、延縄漁法で獲ったクロマグロを船上で

迅速に処理を施し、海水水で急速に冷やします。このことで、クロマグロの鮮度を抜群に保ち、美味しいクロマグロを提供しています。

・松前町郷土芸能大公開
【5月6日～7日】
・松前城プロジェクト
【5月6日～7日】
松前城下時代まつり
【8月13日～15日】
・松前城下マグロまつり
【9月17日～18日】



松前沖で獲れる「松前本まぐろ」(クロマグロ)と秋の味覚を心ゆくまで味わうことができます。

●イベントカレンダー(予定)
【4月29日～5月20日】
松前城周辺に広がる松前公園で開催されます。
期間中はさくら観覧会も実施されるので、園内放送や案内掲示を確認してみてください。



町の取組み

○書を愛する心を育てる
書のまちづくり

松前町は、日本を代表する書家・金子鷗亭の出身地であることに由来し、「書のまち松前」として、まち一丸となり書道文化を根



付かせる取り組みを進めています。
平成27年度から、公立中学校では全国初となる書道科の授業が導入されました。すでに書道科を設けている全小学校のほか、高校でも書道を必修としているため、小中高一貫した書道

教育が実現しました。
○夫婦の手紙コンクール
松前町では、夫婦桜のすばらしさをPRするとともに、夫婦の仲睦まじさの有り様を多くの人々に知っていただくため、毎年「夫婦の手紙全国コンクール」を実施しています。(12月～2月募集。5月発表)

用事がなければ書くことが少ない手紙ですが、この機会に普段心に抱えていることを表現してみませんか？

詳しくは「夫婦の手紙実行委員会」ホームページをご覧ください。

<http://huhunotegami.jundo.com>

○東京松前会のご案内
東京およびその周辺に居住する松前出身者や縁故者で構成される会です。

連絡先：事務局 小笠原 MAIL: family.ogasawara@
TEL/FAX: 046-841-2075 gmail.com

○ふるさと納税(寄附)

松前町では、先人の遺産を大切にし、地域文化を核に文化の創造をめざして、多くの人々が訪れ、いきいきと交流し合う、文化の香り漂う「ふるさと松前」づくりに取り組んでいます。

手続きの方法等については担当までお問い合わせください。

【事業メニュー】

- ①世界一の「せくらり」づくりに関する事業
- ②日本一の「書のふるさと」づくりに関する事業
- ③北海道唯一の城郭「松前城」の保存整備に関する事業
- ④その他町づくりに関する事業(①～③以外)
- ⑤物産振興等による地域活性化に関する事業

【寄附者へのお礼】

松前町で獲れる新鮮なマグロ、ウニ、アワビなどの海産物、銘菓の詰め合わせなど多数ご用意しています。

※海産物は時期によっては取り扱っていないのでご了承ください。

(担当：総務課)

<http://www.e-matsumae.com/furusatonouzei/>

松前町のご紹介

まじまじ

まつまえ 松前町の紹介

観光スポット

松前町は北海道の最南端に位置し、西は日本海、南は津軽海峡に面し、東西約50km、面積は293.12km²で、国道228号線沿いに集落が形成されています。白神岬の絶景、折戸浜・小浜の海岸景勝など、海岸線は変化に富んだ景観を有し、オオミズナギドリ等の繁殖地として知られる渡島大島、ケイマフリなどの繁殖地である松前小島とともに、松前・矢越道立自然公園に指定されています。

○「松前城」
日本式城郭である松前城は、本丸御門が国の重要文化財に指定されており、内部は松前藩やアイヌ民族などに関する資料館となっています。また、松前城は1年を通し、季節によって光



・血脈桜(けちみやくぐくろ) 松前で最も多い品種である。

咲き「遅咲き」があり、1カ月以上にわたって咲き続けます。「花守」の手による松前生まれの桜はおよそ100種、ここでしか見ることのできない品種もあります。

○松前の桜 三大名木

・蝦夷霞桜(えぞかすみぐくろ) 龍雲院の「霞桜」の老木に元北海道大学教授の館脇操博士が命名しました。その名の通り、とても淡い紅色が美しい桜です。

○北嶋碑林(ほくおうひりん)

松前町出身の金子鷗亭(かねこおうてい)は近代詩文書の父と呼ばれる書の大家で、その生誕100年を記念して、松前藩屋敷の北側に作られた碑林です。鷗亭とその門人の作品を彫り込んだ石碑120基が道沿いに並び、書の世界を感じます。



○「松前藩屋敷」

松前の北に位置する江戸時代の松前を再現したテーマパーク「松前藩屋敷」は、

美しい海岸景勝と鳥獣の生息地である白神岬は新たな聖域として注目されています。



○「道の駅」北前船松前

昨年4月にリニューアルした道の駅は、津軽海峡の絶景を望み、「松前本まぐろ」をはじめ、ウニやアワ



ジなど新鮮な海の幸を堪能することができます。また、

産品も豊富に取り揃えており、見学水槽室では松前近海でとれた魚を間近で見ることが出来ます。

○「寺町」

北海道遺産でもある松前城とその北側に広がる寺町を歩けばまるで江戸時代に迷い込んだ気分になります。

・松前藩主松前家墓所

松前の歴代藩主やその家族など55基の墓が建ち並んでいます。

・法幢寺(ほうどうじ)

松前藩主の菩提寺で松前藩主墓所が境内に隣接しています。



色を変えライトアップされているため、幻想的な雰囲気を楽しめます。



る「南殿」の親木です。この桜の精が乙女の姿となって現れたという伝説が残っています。



○「250種類1万本の桜」

250種、1万本以上の桜が咲く「さくらの里」松前に桜が咲きはじめたのは松前藩の時代です。本州から渡ってきた人々が、遠く離れた江戸や都をなつかしみ桜を植えたことがきっかけと言われています。その美しい風景を愛した人々の手によって、松前の桜は守り育てられてきました。

品種には「早咲き」「中

・夫婦桜（めおとざくら）

1本の幹から「梁井吉野」と「南殿」が寄り添うように生えていることから「夫婦」の名前がつけられました。



沖の口奉行所や廻船問屋など14棟全ての改修工事を行い、本年3月19日装いも新たにオープンしました。



○「白神岬」

北海道最南端、津軽海峡に突きでた白神岬はアイヌ語のシラルカムイ（岩の神）が由来です。北海道から津軽海峡を越えて本州へ向かう渡り鳥が300種類以上も数えられ、日本屈指の渡り鳥の休憩地になっています。

販売コーナーでは松前の特

○町のキャラクター紹介

町のイベントや行事には欠かせないご当地キャラクターの大漁くんとまぐろくん。

日々、町のPR活動、町民の笑顔のためけっばっています。

※「けっばる」は松前の方言で「がんばる」という意味



◆まぐろくん
大漁くんに釣り上げられたまぐろくん。
200kgの巨体に凛々しいまゆ毛が特徴

◆大漁くん
漁師で町の観光大使を務めています。
愛くるしい笑顔で皆さんをお待ちしています。

松前町の紹介

ふくしま 福島町の紹介

福島町とは

北海道の南西部に位置し、津軽海峡に面した海岸は、東の矢越岬から西の白神岬まで、変化に富んだ美しい景観に恵まれ、北海道最南端の道立自然公園に指定されています。



対馬暖流の影響を受けて、年間を通じて道内では比較的温暖な気候に恵まれています。

沿革

町内各地から、縄文時代の遺跡が発見されていますが、文献によると、文治5年(1189年)に奥州藤原氏の一族が海を越え、定住したことに始まると言

われています。

漁業を中心に、5つの村(福島村、白符村、宮歌村、吉岡村、礼髭村)が形成されていましたが、明治維新後、町村制の施行によって、福島町と吉岡村になりました。

その後、昭和30年に福島町と吉岡村が合併し、現在の福島町が誕生しました。



昭和38年には、北海道と青森県を結ぶ青函トンネル工事が始まり、北海道側の工事基地となり、「トネルの町」として工事とともに歩んできました。

昭和60年の工事完了後は、イカやマグロをはじめ

とする沿岸漁業や、養殖コブを中心とした栽培漁業、水産加工業を基幹産業としています。

また、「第41代横綱千代の山」、「第58代横綱千代の富士」の二人の大横綱の出身地であり、「女だけの相撲大会」や「千代の富士杯争奪相撲大会」などのイベントのほか、九重部屋力士の夏合宿が行われるなど、相撲をテーマとした「横綱の里づくり」を推進しています。



○町花 ヤマユリ

○町木 杉

イベントカレンダー

ふるさと会

- 5月 殿様街道探訪ウォーク in 春
- 6月 北海道女だけの相撲大会
- 7月 万ばんぐ相撲函館場所福島大会
- 8月 千代の富士杯争奪相撲大会
- 9月 かがり火コンサート
- 10月 海峽横綱ビーチマリ
- 11月 九重部屋夏合宿
- 12月 やるべ福島イカまつり

【北海道福島会】 関東近郊在住者の皆さんが集まり、毎年4月に東京都内で総会を開催しています。10月には代々木公園で開催される、北海道フェア in 代々木に毎年出展しています。

【札幌福島会】 札幌市近郊在住者の皆さんが集まり、毎年6月に札幌市内で総会を開催しています。

【はこだて福島会】 函館市近郊在住者の皆さんが集まり、毎年10月頃に函館市内で総会を開催しています。

町の取組み

○次世代を担うリーダー等の育成
 福島町の将来を担う若者が自ら考え行動し、積極的にまちづくりに参加するような人材を育てるため「人財育成基金条例」を制定し、安定財源を確保したうえで、各種支援を行うこととしています。

また、東京農業大学、はこだて未来大学、北海道大学水産科学研究院等との連携協定に基づき、人材育成や産業振興を進めています。

○産業の再生による雇用の創出
 基幹産業は水産業で、コップ養殖など「資源管理型漁業」の推進によって、安定生産の拡大と付加価値向上を進めています。また、新たな養殖事業の展開に向けた取り組みにより、漁家の

経営の安定を図るとともに、「浜の振興計画」を策定し、将来的な前浜の振興に向けた取り組みを進めています。

○若者の定住策・子育て環境の充実
 「子どもは地域の宝」との考えのもと、地域全体で子育てを応援するため、出産祝金の支給、高校生までの医療費の無料化を行っています。平成28年度からは新たに、保育料及び学校給食費の無料化、満1歳の誕生日に地元産米のプレゼントをスタートします。

また、新たな雇用の場の創出に向けた事業展開のほか、若者等に魅力ある住宅環境の提供に向けた取り組みを進めています。

○がん予防対策の充実
 町民一人ひとりの健康が町を元気にするという理念の下、「福島町がんなんか

に負けない基本条例」を制定し、各種がん検診の受診料を無料化し、だれもが健診を受けられる体制を整えることで検診率向上、早期発見、早期治療による町民の健康維持を促進しています。

○高齢者等の安心安全な生活環境の充実
 町民一人ひとりの幸せを実現するため、「健康福祉」「協働福祉」、「安心福祉」を推進し、町民相互が「支え合い・助け合い」の活動により、生きがいをもって地域で暮らせる仕組みづくりを進めています。

一人暮らしや高齢者だけの世帯の方が、地域で安心して生活することができるよう、見守り活動等を行っています。また、増加する空き家の適正管理に向けた対策を進めています。

【福島町ふるさと応援基金】

（ふるさと納税）を募集しています。

福島町を愛する方々のまちづくりへの幅広い多様な参加を進めるため、皆様の思いをふるさとづくりに対する社会的投資（寄附金）として受け入れ、これを基金としてより良い環境や次世代につながる社会基盤を整備していくこととしています。寄附金は一口5千円を基本として、何口でも受付しております。福島町のふるさとづくりに共感していただける皆様の応援をお待ちしております。ご寄附にあたっては、次の中から寄附金の使用を指定することができます。

- (1) 産業の充実及び整備
- (2) 生活環境の整備及び健康福祉の充実
- (3) 人材育成及び文化の向上
- (4) コミュニティその他まちづくり
- (5) 特に指定しない

なお、5千円以上の寄附をいただいた方には、心ばかりのお礼ではございますが、福島町の特産品※を、ありがたうの感謝を込めてお届けいたします。

手続きの方法等については、町ホームページをご覧ください。直接担当までお問い合わせください。
 ※特産品を指定することはできません。

問合せ先：0139-47-3007
 問合先：0139-47-3007



福島町の紹介

ふくしま

海峽と横綱の里 福島町

観光スポット

○横綱千代の山・見学することができます。

千代の富士記念館

○青函トンネル記念館

福島町は、北海道出身者として初めて横綱となった「第41代横綱千代の山」、角界初の国民栄誉賞を受賞した横綱「第58代横綱千代の富士」の二大横綱の生誕の地です。



館内には、師弟の關係でもあった二大横綱が神聖な土俵を舞台に試練と精進を重ね、ついに「心・技・体」

海底トンネルとしては世界最長の「青函トンネル」がトンネル技術の結集により完成したことによって、海に隔てられた北海道と本州がつながり、陸続きの交流が可能になりました。

そして、平成28年3月26日には、大きな夢と希望を乗せた北海道新幹線が開通しました。

福島町は青函トンネル工事の北海道側の基地を担い、工事記録や技術情報、設備重機などが遺産として受け継がれ、これらのトンネル文化を後世に伝えるミュージアムとして「青函トンネル記念館」があります。

程で、子ども連れでも安全に遊ぶことができます。大きくカーブする第一突堤の先端部には展望台があり、天気が良ければ対岸の津軽の山々も望めます。また、岩場もあり、磯の生物を見つけたり、磯遊びを楽しむこともできます。

センターハウス内には男女トイレと多目的トイレ、更衣室と外部温水シャワーが完備されています。



○秀峰 大千軒岳（だいでせんげんだけ）

標高1072メートル、道内の1000メートル級の中で最南に位置し、

た隠れキリシタンが採掘のために移り住み、その後のキリシタン禁令強化による106人の蝦夷キリシタンの殉戦地として、現在でも函館のカトリック教徒が毎年7月にこの地を訪れてミサを行っています。

○松前矢越道立自然公園



道南の秘境、松前矢越道立自然公園は、松前町の白神岬を中心に福島町と知内町にまたがる約30キロメートルの海岸線で、その中でも岩部港から矢越岬に至る海岸線、岩部海岸は、陸路などの交通手段の無い「道南の知床」の異名を持つ秘境地帯で、奇岩怪石が続く

○千軒そば

露天風呂、泡風呂、サウナなど、クアハウス感覚の入浴施設が整っていて、杉とヒノキの木目がやさしい露天風呂は、緑いっぱい森が迫り、四季を鮮やかに映します。吉岡川のせせらぎや、秋には虫たちの風流な鳴き声が響き、心の奥まで自然のシンフォニーを楽しむことができます。

海拔約1000メートルで、昼夜の温度差が激しい大千軒岳の麓で栽培された千軒そば（十割そば）は、風味が豊かで、つるっとした食感が評判です。毎年、そばの花が咲く9月上旬に、そばの花が海の

を極め、横綱に登りつめた全記録と、大相撲文化のすべてが収められています。

また、厳しい修行の場であつた九重部屋の稽古土俵の再現、コンピュータを使った楽しいゲーム感覚の体験コーナーなどもあり、だれもが楽しめ、思い出に残る記念館です。



福島町では、毎年8月に九重部屋の夏合宿が行われており、横綱記念館内に再現した九重部屋の稽古土俵において、普段は見ることのできない現役力士の迫力ある朝稽古の様子を間近で



○海峡横綱ビーチ
海峡横綱ビーチは、平成23年7月に本格オープンした道南最大規模の砂浜人工海水浴場です。

バックに円錐状の豊かな山々、目の前には津軽海峽が広がっています。

突堤と潜堤に囲まれている人工海水浴場のため波の影響が少なく、津軽海峽の荒波に流される心配をせず、天然のプール感覚で安心して遊ぶことができます。

最大水深も1.5メートルと浅めで、大人なら足がつく

松前半島で最も高い山です。

津軽海峽と日本海に囲まれ、遠くは内浦湾を望むことができ、本州の2000メートル級の山に匹敵する高山性を備えていると言われており、高山植物が咲き乱れるお花畑や千軒清水などがあります。



大千軒岳周辺は、江戸時代初期、砂金採取の場所として有名で、砂金掘りの家が千軒もあったので、千軒岳と呼ばれるようになったと言われています。

雄大な景観は、幻想とロマンの世界へ誘います。

【耳岩】人間の耳に似ていたところから名づけられた岩

【シタン島】紫檀(シタン)の木があつたが、秋田より金の盗掘に来た者が、切り取って持ち去つたと言われている島

【矢越岬】源義経が蝦夷地を目指して渡航中、突然激しい霧に襲われたため、「この岬には妖怪が住んでいるので退治する」と言つて矢を放つたという伝説が残る岬

○吉岡温泉 ゆとりぎ館 「ゆとり」と「やすらぎ」を重ね合わせたネーミングがすべてを物語る温泉です。

建物には杉材がふんだんに使われ、木の温もりが

ように一面に広がる中央に舞台を設け、北海道無形民俗文化財である「松前神楽」の舞が堪能できる「千軒そばの花鑑賞会」が開催され、じゃがいも掘り体験&詰め放題や塩辛じゃがいも食べ放題など楽しいイベントが開催されます。

○殿様街道 江戸時代に、松前から箱館(函館)に至る街道は27里(106キロメートル)あり、蝦夷地の幹線道路でした。

この中でも、福島町から知内町に至る道路は、殿様も頻繁に通つたことから、通称「殿様街道」と呼ばれ親しまれています。

また、土方歳三、伊庭八郎、人見勝太郎ほか、旧幕軍の勇士がこの街道を駆け抜け、松前城を目指した、激戦の地でもあります。

福島町の紹介

ふくしま

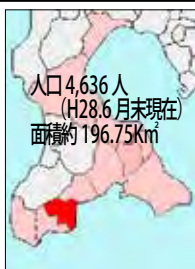
●お問合わせ 049-1392 北海道松前郡福島町字福島820番地
TEL: 0139-47-3001 (代表) FAX: 0139-47-4504

しりうち 知内町の紹介

知内町とは

○知内町の概要

北海道の南端渡島半島の南西部、津軽海峡に面した、青函トンネル出入り口の町です。豊かな自然と美しい景観に包まれ、800年余の永い歴史を持ち、多様な産業で発展し続けています。



【知内町の歴史】

知内町は渡島半島の南西に位置し、木古内町、福島町、檜山管内上ノ国町と接しており、鎌倉時代に甲斐の国イハラ郡領主・荒木大守が来道して、知内川で砂金掘りをしたと伝えられる

など、古い歴史を持っています。町名の由来はアイヌ語の「チリ・オチ」（鳥のいるところ）。知内は鷹の産地として有名で、松前藩が徳川將軍家に鷹狩りに献上する15羽の鷹のうち、半数以上は知内で捕獲した年もあったと言われています。明治4年（1871年）、旧松前藩土田中明定が、館

○特産品

【知内には「北の華」】

（たて）県庁から第10区（知内・福島両村全域にわたる）初代戸長に任命され就任しました。これが知内の自治の始まりです。その後、農業や漁業が活況を見せ、これに伴い人口が増加。明治39年（1906年）に小谷石を合併して知内村が誕生しました。以降、鉄道が開通するなど産業や暮らしの基盤が着実に整備され、昭和42年（1967年）に町制を施行しました。



道内一の生産量を誇る、「知内には北の華」。

出荷は、真冬1月上旬から始まり、秋まで途切れることなく行われます。寒さの中でじっくり育った「北の華」は、葉幅が広く色鮮やかで甘みも強いなど、食感と味の良さは抜群です。

これに加え、先進のトレーサビリティシステムの構築など、安全・安心を求める消費者ニーズに高いレベルで応え、揺るぎない信頼を築きました。

寒い期間にも美味しく味わうことのできる「北の華」は年中様々な料理で存在感を発揮します。

【「海峡育ち」知内かき】

海峡の早い海流で育った「知内かき」。

他に類を見ない海峡での外海養殖は十分に栄養を取り込んで、大きく身の締まった力子を育てます。

約1年半かけて育てられた力キは大きいものが殻つき用、小



年に数回行われる町内イベントでも力キは大人気！焼き力キコーナーには数時間待ちの列が作られます。

町の取組み

○定住・移住・交流のまちづくり

町では、平成28年度より第6次まちづくり総合計画をスタートし、「誰もが輝く定住・移住・交流のまち」をテーマに少子高齢化や人口減少問題に取り組んでいます。

- ★ものづくり産業振興事業
- 町では地域産業を活性化し、移住・定住やUターンを促進するため様々な助成制度を創設しています。
- ・雇用・担い手支援(青年就農・就漁・就業給付金)
- ・人財育成(産業研修・資格取得支援)
- ・ものづくり支援(新分野進出・新商品開発・商品価値向上等支援助成)
- ・企業立地支援(新規企業



立地への助成)
 ・移住支援(住宅新築・購入時に助成金を支給、またはセミオーダー型の戸建て住宅を賃貸し、20年後には自己所有)

★子育て支援
 町では、保育料の独自軽減及び2人目以降無料化をし、学童保育を併設した町民プールや町営のスキー場も児童生徒は無料で利用できます。また、妊婦検診や子どもの予防接種への助成制度も行っています。

★特色ある教育
 町では町立の幼稚園や高等学校を運営しており、特色ある一貫教育を行っています。特に知内高校では、海外への修学旅行や各種資格取得費用の助成、コース制授業選択や海外への英語短期留学、大手予備校のサテライト講習受講などを実施し、生徒の希望に応じた指導が可能となっています。

※移住や企業誘致に関する詳細は、担当までご連絡ください。(担当：総務企画課)

○ふるさと会のご案内
 ・東京知内会
 ・東京知内会は、関東地方に在住する知内町出身者と知内町にゆかりのある方々で構成されています。

・札幌知内会・函館知内会

札幌市や函館市近郊に在
 ※ふるさと会へ入会を希望する知内町出身者と知内される方は、担当までご連絡ください。(担当：総務企画課)

○ふるさと納税

◆事業メニュー

皆様からいただいた寄附金は、「教育振興基金」として積立て、次代を担う幼稚園児から高校生、お年寄りまでの文化・スポーツ活動強化のために活用させていただきます。

まちづくりの担い手となる元気な人づくりに向け、皆様のご協力をよろしく願います。

◆寄附者への御礼

ふるさと納税の御礼と町の特産品PRを図るため、ご寄附いただいた方へ寄附額に応じて町の特産品を贈呈しています。詳しくは知内町公式ホームページをご覧ください。(担当：総務企画課)

知内町のご紹介

しんうち

知内町のご紹介

北の玄関口知内(しりうち)町

観光スポット

○青函トンネル撮影台

今年3月に開業した北海道新幹線が北海道側で、最初に見ることが出来る青函トンネル撮影台は、国道228号線沿いに面しており、高床式の屋根付き撮影台となっています。



新幹線が青函トンネルを抜けて飛び出してくる姿は、まさに圧巻です。鉄道ファンや、写真愛好家の方々に大変喜ばれています。

知内町をぐるりとパノラマで見渡せる展望台からの景色をご覧になってみてはいかがでしょうか。

○矢越(やこし)岬

車で市街地から道道531号線を小谷石(こたにいし)地区に向かうこと約15分。海拔121mの断崖の岬である矢越岬は道路のない秘境地帯で、小谷石から船か徒歩でしか接近できません。松前矢越道立自然公園の見どころのひとつとなっており、海水の透明度が高く、吸い込まれそうなほど青く澄んでいて、海中の海藻や魚が見えるほどです。

また、岬には矢越八幡宮があり、明暦元年(1655年)に松前藩の家老であつ



るため、人が立ち入らない海岸の間際にまで近寄ることができ、秘境の雰囲気を感じることが出来ます。運が良ければ、イルカや野鳥、クマなどなかなか見られない動物達に出会えるかもしれません。ツアアの中にある大人気の神秘的な青の洞窟は、エメラルドグリーン、コバルトブルーの輝きでさまざまな表情を魅せてくれます。また、青の

来より地域住民に信仰されています。



○かき小屋知内番屋

今年4月にリニューアルオープンした「かき小屋知内番屋」は、強い甘みと濃厚なココのプリプリなカキを目の前で焼きながら贅沢に味わうことができます。

メインの焼ガキ、蒸しガキには新鮮な生のカキを使用しており、その他にもホタテやツブなどの海の幸もご用意しております。また、

イベント

○さくらまつり青空市

知内町の特産品を格安販売するイベントで、採れたてのカキをその場で焼いて食べる「焼ガキコーナー」などが人気です。

○サマーカーニバルin知内

今年で32回目を迎える知内町の夏を彩る一大イベントです。今年には知内町出身の北島三郎氏の芸道55周年を記念し、知内演歌まつりと題した歌謡ショーが開催されます。イベントの最後は約6000発の花火がファイナルを飾ります。

○しりうち大漁まつり

上磯郡漁業協同組合が主催で運営するウニ、マコガレイ、ホタテなど、知内町の海の幸を販売するイベン

知内町の紹介

しんない

す。

知内町字湯ノ里48番地先
お問合せ 知内観光協会
☎01392・5・7311

○重内(おもない)展望台



重内神社の裏手にある重内展望台から東側の津軽海峡方向を眺めると、山麓から海へと一直線に向かう直線道路が印象的な知内町の全景が広がり、豊穡な大地、富裕の海原、吹き抜ける薫風を感じることができます。晴れていれば津軽海峡の先に青森県の山並みが見えることもあります。

た蠣崎広林(かぎざきひろしげ)が蝦夷蜂起による出征の際、武運長久を祈願して建立し、弓矢を奉納したと伝えられています。



○矢越クルーズ

「道南の知床」と呼ばれている矢越海岸には、手つかずの大自然を目の当たりにすることができる夏季限定のクルーズアクティビティ、矢越クルーズがあります。約90分間でクルージングする遊覧船ツアーです。小型の船で運行してい

た洞窟はパワースポットとされており、白い小石に願いを込めて沈めると願いが叶うと言われ、透明度の高い海水にゆらゆらと沈んでいく小石は幻想的です。

☎01392・6・7854
料金 大人4000円、小人2500円
※完全予約制
※2名以上で出航

○姥杉(うばすぎ)

姥杉は、知内公園内にある推定樹齢700年以上とされる老杉です。根元近くに女性の乳房のようなコブが2つあり、「乳不足に悩む母親が洗った米をこの杉にお供えして授乳を祈願し、その米を持ち帰ってお粥にして食すと母乳が出るようになった」という逸話から、姥杉(乳母杉)と呼ばれるようになりました。授乳や安産の神様として古

カキを使ったパスタや、定食、カレーなどもあります。また、「知内海鮮焼きそば」や「あほう焼き」など知内道南杉を使用し、料理にはすべて知内産のお米「ふっくりんこ」や、知内町の特産品である知内から「北の華」を使っており、地産地消にもこだわっています。

知内町字重内10番地15
☎01392・6・7511
営業時間 11:00～20:00
定休日 月曜日(月曜日がある日は営業、翌火曜日)



くります。また、「知内海鮮焼きそば」や「あほう焼き」など知内町の海の幸も味わえます。

○産業まつり

収穫の秋を祝い、毎年10月末に開催しているイベントで、知内町農林水産物などの特産品を、産地価格で購入できます。餅まきや、豪華景品が当たる大抽選会など楽しい企画が盛りだくさんです。

○しりうち味な合戦冬の陣「カキVSニラまつり」

知内2大ブランド「知内かき」と「知内なら北の華」がともに旬を迎える2月に開催される食のイベント。「カキ」と「ニラ」の販売のほか、創作料理、焼ガキコーナーが大人気です。

●お問い合わせ
○知内町役場

〒049-1103 北海道上磯郡知内町字重内21-1
TEL: 01392-5-6161 FAX: 01392-5-7166

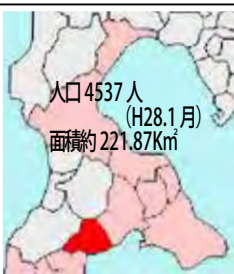
木古内町の紹介

木古内町とは

○木古内町の概要

【町名の由来】

木古内(きこない)は、アイヌ語の「リコナイ(高く昇る源)」、または「リコナイ(潮の差し入る川)」から転訛したものとされています。



【町の歴史】

木古内町内に和人が住むようになったのは、およそ700年前とされています。その後、明治18年から19年には、山形から庄内藩士105戸が入植したことで、農業の基礎が築かれま

した。昭和初期までは、酪農、ニシンやイワシ漁、豊かな天然森林資源などによる林業が人々の生活を支えてきました。

昭和10年代に入ると国鉄江差線や松前線の一部が開通し、それぞれの分岐点である当町は鉄道交通の要衝となり、木古内駅を中心としてにぎやかさを増していきました。交通の面では昭和50年代から現在までに、

国道のバイパス開通や国鉄松前線の廃止、青函トンネル開通によるJR津軽海峡線の開業、JR江差線(木古内〜江差間)の廃止など変化がありました。現在も、交通の要衝としての面は変わらず、北海道新幹線木古内駅の開業や、同時に開業した「道南いさりび鉄道」、現在建設が進められている高規格自動車道木古内イン

ターチェンジの開業(平成31年度供用開始予定)など、今後もますます交通の利便性が高まります。

○特産品

【はこだて和牛】

はこだて和牛は一般的に黒毛和牛に比べて、脂肪分が少なくヘルシーで、旨み成分を豊富に含む赤身部分が多いのが特徴です。生産者が丹精こめて育てた木古内産のはこだて和牛は、平



成27年に開催されたあか毛和牛の品評会で全国最優秀

賞に輝くなど、高い評価を受けています。

【天然ヒジキ】

天然のヒジキは、北海道南部から日本海側を除く本州全域、四国、九州に分布

していて、道南が北限です。4月〜5月にかけて木古内町でとれる天然ヒジキ



は、身が大きくたく柔らかく、水で戻しただけで食べられます。豊かな磯の香り

があり、調理方法として炒め物、サラダ、炊き込みご飯などに利用されています。

【地酒「みそぎの舞」】

木古内町で作られた「ほのか224」「ほしのゆめ」を使用し、木古内町の姉妹都市である山形県鶴岡市の富士酒造で醸造された純米酒です。辛口で調和のとれたまるやかさが特徴で、大変美味しく、幻の酒と言われています。

○イベントカレンダー

1月..寒中みそぎ祭り・寒中みそぎフェスティバル

5月..サラキ岬チュエリツプフェア

8月..きこない咸臨丸まつり

11月..きこない産業まつり

町の取組み

や土地の情報提供などを
行っています。

は北海道全体の活性化を
目指していきます。

（会事務局へ連絡します。
担当：まちづくり新幹線
課）

○移住定住と企業誘致

本古内町では現在、学校
給食費の無料化や保育料の
独自軽減などの子育て世帯
への支援や、当町への移住
をお考えの方に対し空き家

また、企業誘致を進める
ため、当町に進出する企業
を支援する企業振興促進条
例の条件を緩和するなどの
対応を行っています。

なお、移住定住と企業誘
致の詳細については、担当
窓口までご連絡ください。
（担当：まちづくり新幹線
課）



停車駅があ
る町として、

ふるさと会のご案内
・東京木古内会
・関東地
方在住する木古内町出身
者との構成されています。

北海道新幹
線開業を絶
好の機会と
捉え、特産
品の開発や
観光資源の
発掘、移住
定住・企業
誘致などを
さまざまな
取り組みを
通じて、当
町をはじめ
とした道南
地域、さら
に

札幌木古内会
札幌木古内会は、札幌近
郊に在住する木古内町出身
者との構成されています。

入会を希望
される方は
担当窓口ま
でご連絡く
ださい。

入会を希望される方は担当
窓口までご連絡ください。

担当窓口ま
でご連絡く
ださい。

入会を希望される方は担当
窓口までご連絡ください。

入会を希望
される方は
担当窓口ま
でご連絡く
ださい。

入会を希望される方は担当
窓口までご連絡ください。

入会を希望
される方は
担当窓口ま
でご連絡く
ださい。

入会を希望される方は担当
窓口までご連絡ください。

入会を希望
される方は
担当窓口ま
でご連絡く
ださい。

入会を希望される方は担当
窓口までご連絡ください。

入会を希望
される方は
担当窓口ま
でご連絡く
ださい。

入会を希望される方は担当
窓口までご連絡ください。

入会を希望
される方は
担当窓口ま
でご連絡く
ださい。

入会を希望される方は担当
窓口までご連絡ください。

入会を希望
される方は
担当窓口ま
でご連絡く
ださい。

入会を希望される方は担当
窓口までご連絡ください。

○ふるさと納税（寄附）

本古内町のさらなる発展振興のために、みなさんからご寄附という形で、まちづくりにご参加いただいております。木古内町への温かなご支援をお願いいたします。

○事業メニュー

- ① 子育て支援のための事業
- ② 保健・医療・福祉のための事業
- ③ 自然や環境を守るための事業
- ④ 産業振興のための事業
- ⑤ 教育の振興及び充実を図るための事業

○寄附へのお礼

ふるさと納税のお礼と町特産品のPRを図るため、ご寄附いただいた方へ寄附額に応じて町の特産品を贈呈しております。手続きの方法など詳細につきましては、担当までご連絡ください。
（担当：総務課）

木古内町のご紹介

きこない

きこない 木古内町のご紹介

観光ス・ポット

北海道新幹線北海道側 最初の駅があるまち「木古内町」

木古内町は、平成28年3月26日に北海道新幹線が開業し、北海道側最初の停車駅があるまちとなりました。

木古内町には8往復16本の新幹線が停車し、東京駅まで約4時間、大宮駅まで約3時間30分、仙台駅まで約2時間30分で結ばれます。



町では、北海道新幹線木古内駅開業記念事業実行委員会を立ち上げ、新青森

新函館北斗間の距離約14.9kmにちなみ、開業まで町と町民が一体となって1年間で14.9の取組の実現を目指す「チャレンジ14.9アクション」など、町内の開業機運の醸成や町外に向けたPRを図っています。また、町のキャラクター

道の新幹線開業に先立ち、平成28年1月にオープンをし、同年7月に来館者数30万人を突破した道の駅「みそぎの郷(さと)きこない」。広域的な観光に対応する観光コンシェルジュが常駐するほか、木古内町の姉妹都市である山形県鶴岡市のイタリアンレストラン

自由通路、道の駅でふんだんに使用されているほか、駅前商店の協力で実施している景観統一事業においても、「道南スギ」を使用した格子を設置するなど、駅周辺は杉材によって統一され、あたたかみのある街並みを演出しています。

また、駅周辺には新幹線駅や道の駅を利用するみなさんが、24時間無料で駐車可能な駐車場を整備しています。

も冷水をかぶって鍛錬を行い、15日には厳寒の津軽海峡へ飛び込みご神体を潔めて、1年の豊漁豊作などを祈願します。特に、1月15日には行修者の勇姿を一目みようと、町内外から多くの方が訪れます。

サラキ岬沖には、初の太平洋横断を成し遂げるなど、幕末に活躍した咸臨丸が座礁・沈没しているといわれています。このサラキ岬には、民間団体によって咸臨丸モニュメントを設置しています。

館「いかりん館」で展示しています。

○薬師山

徒歩15分ほどで登ることが出来る標高72mの小さな山ですが、天気がよければ津軽海峡や下北半島、津軽半島も一望できるビュースポットです。ここからは新幹線木古内駅も見下ろすことができます。



新幹線ビュースポット北海道新幹線は、青函トンネルをはさんだ82kmについて新幹線と在来線のレールが共用する区間となります。木古内町内には、全国的にも珍しいこの新幹線と在来線の分岐ポイントを見ることが出来る展望台があります。新幹線開業後は、新幹線と貨物列車がすれ違う様子を上から見ることも

また、咸臨丸が建造されたオランダにちなみ約5万球のチューリップが植えられており、春には多種多様なチューリップが咲き誇り、道行く人の目を楽しませていきます。

なお、咸臨丸のものと推測されるイカリは、鶴岡地

また、毎年4月5月ころには芝桜で一面きれいなピンク色に染まります。登山道と遊歩道も整備されているので、春になると町内の方が散策に訪れます。

ター「キーコ」を活用し、町内外のイベント等で新幹線開業PR活動を行っている



ン「アル・ケッチャーノ」の奥田政行シェフ監修のレストラン「どうなんぞ(デス)」、道南西部9町の特産品などを集めたショッピンゲリアなどがあります。



ます。
 ○北海道新幹線木古内駅
 北海道新幹線木古内駅舎のデザインは、平成24年3月に閉校となった木古内高校の生徒15名が選定し、決定しました。駅舎のコンセプトは「波と森のpromナード」北の交流発進地」。寄せては返す津軽海峡の波をイメージした壁面などが

また、松前町や江差町、函館市へ向かう路線バスの発着点にも面し、道の駅内にはレンタカーの店舗もあるため、道南観光の拠点としての役割を担っています。

○新幹線駅周辺整備事業
 町木である地元材の「道南スギ」は、北海道新幹線をイメージした壁面などが

できます。
 ★木古内町のおすすすめ★
 ○真冬の神事「寒中みそぎ祭」

天保2年(1831年)から続く伝統ある神事、寒中みそぎ祭。神社に「ご神体を潔(きよ)めよ」とのお告げがあったことから、はじまつたとされ、毎年行修者(ぎょうしゅうしゃ)と呼ばれる4人の若者が、1月13日から佐女川神社にこもり、真冬の厳しい冷え込みの中で昼夜問わず何度



区にある木古内町郷土資料



町の特産品である「ほこだて和牛」(あか牛と呼ばれる褐色和牛種)をモチーフとし、山本寛齋氏が主宰する「寛齋スーパースタジオ」と町の協働プロジェクトで誕生したキャラクター「キーコ」。北海道新幹線の開業をPRするため、JR北海道から「北海道新幹線木古内駅観光駅長」として任命されました。



北海道新幹線木古内駅
 観光駅長「キーコ」

・キーコのブログ
<http://ameblo.jp/kikonaiki-ko/>
 ・キーコのfacebook
<https://www.facebook.com/kikonai.ki.ko>

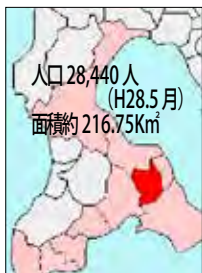
●お問い合わせ
 ○木古内町役場 〒049-0422 北海道上磯郡木古内町字本町218番地
 TEL: 01392-2-3131 (代表) FAX 01392-2-3622

七飯町の紹介

七飯町とは

○ななえの由来

七飯はもともと「七重」と書かれていましたが、明治12年(1879年)の飯田村との合併により「七飯」に改められました。アイヌ語で豊かな沢を意味する「ヌアン・ナイ」が語源である、ともいわれています。



○西洋農法

明治3年(1870年)、アメリカやヨーロッパの農法を試す試験農場として七重官園が造られました。ここでケブロンや、北海道酪農の父ともいわれるエド

ウィン・ダンらお雇い外国人が洋式の農法について指導しました。そのため全国でもいち早く西洋農法が取り入れられた七飯町は、日本における西洋農法を基盤とした近代農業発祥の歴史を持つ町となりました。

○食(特産品)

自然に恵まれ農業や畜産業が盛んな七飯町には、美味しい肉や乳製品、農産物酒など特産品がたくさんあります。

○「千の風になつて」名曲

誕生の地 名曲「千の風になつて」の訳詩・作曲をした新井満さんは、大沼の静けさに魅力を感じた湖畔に別荘を建てました。そこで「千の風は日本でも最初に西洋リンゴが栽培された場所である」といいます。



明治2年(1869年)

に大規模な試験農場が開かれ、りんごやサクランボなどの栽培が試みられました。そのことから、七飯町は日本でも最初に西洋リンゴが栽培された場所であるといわれています。

「レッドゴールド」などの基幹品種のほか、「ひめかみ」や「ハックナイン」、〈乳製品〉

新ブランドである「ななみつき」など多品種のりんごが栽培されています。



〈牛肉製品〉

大沼では昔から牧畜が盛んで、広大で肥沃な土地で澄んだ空気の中で育った「はこだて大沼牛」は脂身が少なく、ジューシーで

○イベントカレンダー

- 7月.. 大沼湖水祭り
 - 7月.. ななえあかまつ街道納涼祭
 - 8月.. 大沼べこつ子まつり
 - 9月.. GREAT EAR
 - 9月.. TH函館大沼ライド
 - 10月.. 北海道大沼グレートラン・ウォーク
 - 2月.. 大沼函館雪と氷の祭典
- ななえチビッコ雪まつり

町の取組み

○ちよつと暮らし体験

七飯町では「七飯町移住促進用体験型住宅」を用意し、七飯町へ移住を検討されている方へ生活体験のサポートをしています。「いきなり移住するのは不安」、「町の雰囲気などを事前に体験したい!」という思いをお持ちの方は是非この機会にご利用ください。ご関心がある方は担当までご連絡ください。

(担当:総務部政策推進課)

○国際・国内交流

〈アメリカマサチューセッツ州コンコード〉

コンコードの所在するマサチューセッツ州は北海道と姉妹都市となっており、両地域の一層の交流拡大を目指し、平成5年、七飯町がコンコードを訪れた

ことで交流が開始され、平成9年11月15日に姉妹都市提携しました。
〔香川県三木町〕

七飯町と三木町は、人と文化を核として、教育・スポーツ・産業・経済などの広範な分野にわたって広く交流を進めることにより、両町の繁栄と町民の幸福の増進に寄与し、両町民の永い友好関係の発展に貢献するため姉妹都市提携を結びました。この姉妹都市提携を記念し、三木町役場玄関前には七飯町の木「赤松」が、七飯町役場前庭には三木町の記念樹「メタセコイヤ」が植栽されました。

また、両町が姉妹都市提携に向けた検討段階にあつた平成10年8月、三木町内の小学校5・6年生44人が七飯町に来訪し大沼小学校の児童と交流したことを始まりとして、現在に至るまで小学校5・6年生30〜40人が隔年でお互いの町を訪問し合い、ホームステイしながら両町の小学生による相互交流事業を行っています。

○ふるさと会のご案内

・東京ななえふるさと会
・東京ななえふるさと会
は、関東地方に在住する七飯町出身者と七飯町にゆかりのある方々で構成されています。入会を希望される方は担当窓口までご連絡ください。

・東京大沼会
東京大沼会は、関東地方に在住する大沼出身者と大沼にゆかりのある方々で構成されています。入会を希望される方は担当窓口までご連絡ください。

・札幌ななえふるさと会
札幌ななえふるさと会

は、札幌近郊に在住する七飯町出身者と七飯町にゆかりのある方々で構成されています。入会を希望される方は担当窓口までご連絡ください。
(担当:総務部政策推進課)

○ふるさと納税(寄附)

七飯町では「七飯町活力あるまちづくり推進基金」を設置して、皆様からいただきました「ふるさと納税」を、7つの事業に活用させていただいております。

1. 健康・福祉・医療の増進を図る事業
2. 学術・文化・芸術・スポーツの振興を図る事業
3. 地域づくりの増進を図る事業
4. 子どもの健全な育成を図る事業
5. 観光・レクリエーションの振興を図る事業
6. 国際交流、地域間交流の推進を図る事業
7. その他、町長が認める公益的な事業

○寄附へのお礼

ふるさと納税のお礼として、ご寄附いただいた方へささやかではありますが、七飯町の特産品を送付させていただきます。手続きの方法など詳細につきましては、担当までご連絡ください。

(担当:経済部商工観光課)



七飯町の紹介

ななえ

観光スポット

○大沼国定公園

道南随一の観光名所、大沼国定公園は、活火山である駒ヶ岳や、その麓に広がる大沼湖、小沼湖、蓴菜沼（じゅんさいぬま）を主とした大小さまざまな湖など、自然豊かな周辺地域一帯が国定公園として指定されています。湖には126もの小島があり、その一部が橋で繋がれ散策ルートとして整備されています。大沼国定公園にはJR大沼公園駅が隣接しており、JRで気軽にお越しいただき、島巡りの自然散策や、遊覧船、ボートなどを楽しむことができます。

また、周辺にはレンタルサイクルがあり、約14kmの湖畔一周や周辺をサイクリングすると、さらに大沼の自然を満喫することができます。

○駒ヶ岳神社



大沼湖畔沿いにひっそりと佇む駒ヶ岳神社は、駒ヶ岳の鎮静祈願のために大正3年（1914年）に建てられました。その左手にある大岩の割れ目を通り抜けると難関突破にご利益があるとされており、安産祈願や合格祈願で多くの方が訪れます。この大きな岩は寛

な牧場で、日中は素晴らしい自然の景観、夜間には宝石をちりばめたような函館の夜景、愛称「七つ星夜景」を楽しむことができます。展望台の開放期間は5月中旬～10月中旬で午前9時～午後5時となっています。

れる小高い山が日暮山です。かつては小沼山と呼ばれていましたが、その眺望があまりに美しく、訪れた人々が我を忘れて日暮れまで見とれていたことから日暮山と呼ばれるようになりました。運が良ければ駒ヶ岳の麓に広がる雲海に出会えるかもしれません。



○赤松街道

「日本の道百景」に選ばれている赤松街道は、明治9年（1876年）、明治天皇が七重勸業課試験場に行幸された際に記念として

基地「函館新幹線総合車両所」は、新幹線の高架橋とJR函館本線にはさまれた場所に位置し、約35万㎡の広さがあります。新幹線の総合車両基地は、日常的な検査から大がかりな検査・修繕までを行う施設であり、北海道で唯一、全国でも5ヶ所しかありません。H5系車両が4編成収容されています。



○函館新幹線総合車両所



七飯町のご紹介

ます。美しい湖沼と水面に映る駒ヶ岳が織り成す雄大な景色をご覧ください。



アプリで観光案内
大沼マップ Drumap
大沼地区に旅行のアプリを早くダウンロード

GooglePlay(Android)用 AppStore(iOS)用

永17年(1640年)に起きた駒ヶ岳の大噴火によって形成されたといわれており、噴火のすさまじさを現代に伝えていきます。

○城岱(しろたい)牧場

J R七飯駅より北東へ約10 km、J R大沼公園駅より南東へ約12 kmに位置し、大正9年に村有牧野・野草牧放地として始まったもので、現在は160 haを草地造成し町営牧場として利用しています。牧場の中を通

過する「城岱スカイライン」は七飯町中心部と観光地である大沼地区を結ぶ道路で、初夏の新緑から秋の紅葉までを楽しむことができます。

また、平成24年に新設された牧場管理事務所には屋内展望スペースがあり、一般開放されています。大野平原を一望できる風光明媚

五稜郭より移植されたのが始まりです。街道沿いの並木の中には樹齢150年余を誇る大木もあり、約1400本の赤松が立ち並び光景はとても壮観です。

平成8年には「歴史国道」に、平成27年には「新日本歩く道100選」にも選定されました。



○日暮山

大沼トンネルを抜け、国道5号を七飯町から森町方面へ向かう途中、右手に現

○町のキャラクター紹介

「ポロトくん」「ポントちゃん」

七飯町の観光PRキャラクターとして平成23年7月30日に誕生した妖精「ポロトくん」と「ポントちゃん」です。2人は、インターネットのホーム(ページ)「まると大沼」のマスケットとして大沼在住イラストレーター石井裕子さんが生み出したキャラクターで、ホームページ上で七飯・大沼の観光ガイドを務めるほか、ホームページを飛び出し、みなさんとふれあひながら、七飯町の観光と物産PRのため、町内外のイベント等で活躍しています。



「ポロトくん」と「ポントちゃん」

●お問い合わせ
七飯町役場 〒041-1192 北海道亀田郡七飯町6丁目1番地1号
TEL 0138-65-2511 FAX 0138-66-2054

しかべ 鹿部町の紹介

鹿部町とは

○鹿部町について

鹿部町は北海道の南端渡島半島の東部に位置し、秀麗北海道駒ヶ岳を背に洋々たる太平洋に面した、噴火湾の出入口にある基幹産業が漁業の町です。



鹿部という名前は、アイヌ語「シケルベ」（「キハダ（別名シコロ）のある所」）が由来となっており、イナウ（神を祀る木幣・薬用・染料などに使う貴重な木であるキハダが多いことからそう呼ばれ、後に転訛して「鹿部」となりました。

気象は1年を通じて冷涼

で冬期間の厳寒の頃にはマイナス14度前後、盛夏の頃も30度を超えることはまれです。夏は南西の風、冬は北西の風が多く吹きます。降水量は北海道の中ではやや少ない地帯に属し、降雪は11月中旬に初雪、3月下旬頃には融けて消えます。



○きらめく海

町内には大小3つの漁港があり、海産物としては、通年でタコ、カレイ、ホッケが水揚げされる他、サクラマス、昆布、ナマコなどの漁も盛んで、特に冬場は



主産業となっているタラコの原料スケソウダラ漁と、ホタテの水揚げが浜を賑わしています。そのため豊富な海産物を生かした水産加工業も盛んであり、「鹿部

たらこ」を始め、全国的にも高い評価を得ている逸品が揃っています。

○うるおいの湯郷（さと）

町内のいたるところに温泉源があり、その泉質も異なるため、海沿いをそぞろ歩いて温泉の「はしご」を満喫することができます。



寛文6年（1666年）、津軽（現・青森県）から訪

れた伊藤源五郎は、温泉で傷を癒す一頭の鹿に遭遇したことから、ここに温泉場を設置し、やがて鹿部の湯は多くの人々に知られることとなりました。

硫酸塩泉、含食塩硫酸塩泉、重曹泉などバラエティーに富んだ泉質で、神経痛やリュウマチ、慢性消化器疾患など幅広い効能があります。

○イベントカレンダー

- 2月.. 鹿部たらこ祭り
- 5月.. 鹿部春のえびつぷ祭り
- 7月.. 鹿部稲荷神社例大祭
- 8月.. しかべ海と温（いでゆ）のまつり
- 9月.. 本別稲荷神社例大祭
- 10月.. 商工会まつり
- 12月.. 『しかべのスケソダよ!』フェスタ!!

町の取組み

○移住・交流

◆ちよつと暮らし

北海道への移住に魅力を感じている一方、生活面で不安のある方などに、一定期間鹿部町での生活を体験してもらい、地域の魅力発見や地域とのふれあいを通して、移住後の生活イメージをつかんでいただくため、平成27年4月1日から『鹿部町ちよつと暮らし』(試行)事業』体験者を募集しています。

応募要件に該当し、町内の宿泊施設にご宿泊いただいた方へ、町から宿泊費の2分の1以内で1泊あたり3000円を上限に、5泊分までを助成します。

詳細は、町公式ホームページをご覧ください。

http://www.town.shikabe.lg.jp/hotnews/detail/0001678.html

◆空き家バンク

平成28年度から「空き家バンク制度」を実施予定であり、町公式ホームページなどで売買物件や賃貸物件の情報を公開し、移住者の希望に合う物件を見つけれられるような環境を整備中です。

(ホームページは現在準備中です。)

「やまぐる」QRコード

ふるさと納税欄参照↓



○ふるさと納税(ふるさとしかべ応援寄附金)

「しかべ」に住たい方、ふるさとに貢献したいという方々をはじめとして、ふるさとを元気にしたいという思いを寄附金というかたちで応援していただく制度です。

皆さまからの寄附を募り「しかべふるさとづくり」を推進していきます。

【事業メニュー】
まちづくりの貴重な財源として、町の活性化に向けて有効に活用させていただきます。

- ①教育、スポーツ及び文化・芸術の振興に関する事業
- ②健康、福祉及び医療の充実に関する事業
- ③地域産業の振興に関する事業
- ④地域防災に関する事業
- ⑤自然環境保全に関する事業
- ⑥その他目的達成のため町長が必要と認める事業

【寄附者へのお礼】
平成27年4月から寄附金の受入れ推進及び地域の魅力発信と地域産業の活性化を図る目的で、寄附金額に応じて町外の方へ鹿部町の特産品をお礼とさせていただきます。

また、旅館やホテルの宿泊券など着地型メニューも用意しています。

【寄附の手続】

ふるさと納税ポータルサイト「さとふる」によりインターネット申込みが可能です。その他、専用申込書による「郵便」「FAX」などの申込みも可能です。

(担当)：企画振興課 TEL：01372-7-5267
MAIL：kikaku@town.shikabe.lg.jp

(写真上)：QRコード

鹿部町の紹介

しかべ

観光スポット

○道の駅しかべ間歇泉公園

しかべ間歇泉（かんげつせん）公園では、全国的にも大変珍しい間歇泉を見ることが出来ます。大正13年、

温泉を掘っていると偶然見つかったしかべ間歇泉は、約12分間隔で1回に500リットルの温泉が15メートルほどの高さまで噴き上がります。噴き上がった温泉を利用した足湯も整備されています。



○鹿部公園



川遊びができる河川敷、散歩道、アスレチック遊具やバーベキュースペースなどがあり、人々の憩いの場として親しまれている「鹿部公園」は、隠れたお花見スポットです。毎年春には約300本の桜が咲き誇り、多くの花見客で賑わいます。手入れの行き届いた

のトイレなどがあります。散策路には木道が整備され、スイセン、ツツジ、アジサイなど四季折々の花々を楽しむことができます。また、ひょうたん沼越しに望む駒ヶ岳は絶景です。

○三味線滝



鹿部町の海際を走る国道278号線沿いにある、三味線滝は、昭和4年の駒ヶ岳噴火によって、周辺の景色が損なわれましたが、岩を流れ落ちる清流が三味線のような音を奏でることからこの名が付けられたと言われています。水量も多く、滝つぼも澄んでいるため、きれいな光景が広がります。



○鹿部春のえびつづ祭り

毎年5月に鹿部公園で開催する花見シーズンに合わせた春のイベントです。



鹿部で獲れた旬の甘えび、つぶ貝の販売や、鹿部たちこなどの特産品の販売、グルメブースや子ども

クシヨンを楽しむ方など様々な目的を持った方々で賑わうイベントです。

○体験観光プログラム

鹿部町では、駒ヶ岳、太平洋、間歇泉や温泉など豊かな自然環境と景観、歴史ある漁業の暮らしぶりや食文化を体験しながら観光できるプログラムを展開しています。



「浜のかあさん地元料理



本年3月18日には「道の駅しかべ間歇泉公園」としてリニューアルオープンし、鹿部たらこなどの水産加工品を取り揃えた物産館、地元で獲れた魚介類を使った家庭料理が味わえる「浜のかあさん食堂」、買った食材をその場で調理して楽しめるバーベキューコーナーや温泉を利用した蒸し釜が新たに整備され、鹿部町の新たな観光拠点として生まれ変わりました。

芝生の上でくつろぐことができ、夏にはオオデマリ、秋にはナナカマドなど四季折々の花や草木を楽しむことができます。

○ひょうたん沼公園
ひょうたん沼公園は、その名のとおりひょうたんの形をした、出来淵（できま）岬の真ん中に広がる湿地性の沼を中心とした公園です。周囲には沼を一周できる散策路や多目的広場、バーベキューもできる東屋、ユニバーサルデザイン

さらに快晴の日には、この場所から羊蹄山、昭和新山、有珠山を望むことができます。

○しかべ海と温泉(いでゆ)のまつり
毎年8月の第3土曜日に、鹿部漁港で開催する鹿部町最大の夏のイベントです。

海の魚のミニ水族館やカッター競漕大会、大ビンゴ大会、物産品の販売、はしご乗りなどの盛りだくさんの内容で、毎年町内外からたくさんの方が訪れ、大変賑わうイベントです。

祭りの夜のクライマックスを飾るのは、道南最大級を誇る約3,400発の多種多様な大花火大会で、夜空と漁港水面を鮮やかに彩り、漁港のすぐ前で打ち上げられる花火は豪快そのものです。



向けアトラクションなど、体験、「手ぶら漁港釣り体験」盛りだくさんの内容で、町内外から旬の甘えびとつづね、「ホタテ耳吊り体験」、貝を買い求める方、開花す「コンブ干し体験」、「鹿部の桜を楽しむ方、広い公園リゾート森あるき」などの体験を実施しています。

○町のマスコットキャラクターをご紹介します！
鹿部町には、町をPRする2人のマスコットキャラクターがいます。
北海道駒ヶ岳からもたらされた軽石をモチーフにした、釣りやサツカーが大好きで、とっても元気な男の子の「カールス君」と、子どもたちが大好きで、ちよっぴり照れ屋な「いずみちゃん」です。
町内外の様々なイベントに出張し、鹿部町の魅力をPRしています。

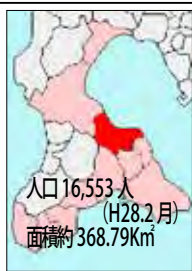
●鹿部町の観光情報はこちらから！
鹿部温泉観光協会ホームページ <http://shikabe.jp/>
鹿部温泉観光協会フェイスブック <https://www.facebook.com/shikabe/>

森町もりのご紹介

森町とは

○概要

南北海道の内浦湾と秀峰駒ヶ岳の周囲に位置する森町（もりまち）は、真夏でも30℃を超えることがほとんどなく、真冬でもマイナス15℃まで下がることは珍しい年間平均気温が7〜8℃の積雪が少ない温暖な町です。



「森」の地名は「木の多く生えているところ」を意味するアイヌ語の「オニウシ」を、「森」と意識したもの。古くから豊かな自然に恵まれた地であったことを示します。このオニウシ

に、漁業のために本州から渡ってきた和人が集落を作ったのは江戸時代初期の頃と考えられています。明治になり、開拓使の出張所が置かれ、札幌本道、函館本線の開通などによって、交通の要衝となったことから地域の中心地として発展していきましました。

平成17年4月1日、旧森町と旧砂原町がひとつになり新「森町」が、道内では初めての新設合併の自治体として誕生しました。

○産業

森町は、農業、漁業及び水産加工業が基幹産業となつていきます。

駒ヶ岳山麓の火山灰土壌という環境に適応して、多種多様な農作物が作られています。火山灰が育むブランドかぼちゃ「都かぼちゃ」はホクホクの食感が好評で

す。また、濁川地区では温泉熱や地熱発電の余熱を利用したトマトなどのハウス栽培が盛んに行われており道内冬野菜の生産基地となつていきます。



内浦湾は、天然の遊漁池と言われるほど漁業資源に恵まれておりサケ、マス、スケトウダラ、カレイ、エビ、ホタテなどが水揚げされます。特にホタテは、森町の水揚げ量が一番を誇り北海道を代表する産地の一つとなつていきます。また、エビの中でも高級食材とされるボタンエビの産地である

ボタンエビの産地である

る森町は、実はボタンエビ漁発祥の地でもあります。



日本の冷凍食品事業発祥の地として知られるなど、森町では歴史的に食品加工が盛んです。地元素材の良さを熟知した、地元の製作者が作る加工品は絶品で日用品から贈答、土産品まで幅広い品揃えとなつていきます。なかでも全国の駅弁大会などでトップの人気を誇る「いかめし」は森町が発祥の地です。

○食

新鮮な魚介類と農作物に恵まれた森町には、名店と

呼ばれる飲食店が多数点在し、地元の人々に愛されています。ミシュラン一つ星に輝いた寿司店をはじめ、産地ならではの安くて美味しい寿司店が並びます。さらにミシュランビブグルマン獲得の中華料理店や、落ち着いた雰囲気のカフェ、前浜で獲れた魚介類の刺身、自家製の生干しや煮魚など豊富なメニューが並ぶ居酒屋など、素材を

生かした名店が充実しています。



町の取組み

○移住・定住

将来的に森町への定住をご検討されている方々を対象に森町に一定期間滞在していただく「ちよっと暮らし」をグリーンピア大沼の Cottage およびホテルの客室を利用して実施しております、手軽に生活スタイルや気候風土などを体験できます。



秀峰駒ヶ岳の麓、大沼国定公園を間近に望む自然環境豊かな分譲地を「からま

つ森」として販売しています。近隣には温泉施設やゴルフ場があり、夏はゴルフ、冬はスキーなどアウト

ドアスポーツが楽しめます。住宅建築完了後、一定の条件を満たして居住される方は、「定住対策促進奨励」による助成も受けられます。

(担当：企画振興課)



○道の駅

「YOU・遊・もり」は国道5号線における函館からの最初の休憩地として、また函館に着く前の最後の

休憩の場所として、多くの利用者が賑わっています。駒ヶ岳や羊蹄山、内浦湾を一望できる屋上の展望ラウ

ンジでは、広大な景色を堪能することができます。森町字上台町326-118

国道278号線沿いの道の駅「つどろる・プラザ・さわら」は、やすらぎプラザと物産館に分かれており、物産館で買い求めた食材をやすらぎプラザに持込みバーベキューを楽しむことができます。また物産館の階上は内浦湾の眺望を楽しめる展望ホールとなっています。

森町字砂原2丁目358-1

1

○ふるさと会のご案内
北海道森町ふる里の会
北海道森町ふる里の会は、主に関東在住の森町出身者でつくる会員数約

120名の会で、会員相互支援を行うことを目的に活動の親睦を深めるとともに、動いています。隔年で森町へ里帰り訪問し(担当：企画振興課) 01374-7-1283

○ふるさと納税

町の豊かな自然環境と地域の歴史・文化を守るとともに福祉の向上や教育の振興を目指し、個性豊かな活力あるまちづくりに資することを目的として森町ふるさと応援寄附金条例を定めています。

森町のまちづくりに多くの皆さまのご支援をお願いいたします。

○ふるさと納税の使い道

皆さまからいただきました寄附金は、まちづくりの貴重な財源として次の事業へ活用させていただきます。

- ①健康、医療及び福祉の充実に関する事業
- ②豊かな自然環境を守る事業
- ③青少年の健全育成と教育、スポーツ及び文化・芸術の振興に関する事業
- ④地域防災に関する事業
- ⑤地域産業の振興に関する事業
- ⑥活気あふれる個性的なまちづくりのための事業

○ご寄附へのお礼品

ご寄附いただいた金額に応じて、森町の特産品の中から、ご希望の1点をお礼品として贈呈します。

詳しくは森町ホームページをご覧ください
(担当：総務課)

森町ふるさと納税HP

<http://www.town.hokkaido-mori.lg.jp/docs/2015091500023/>

森町のご紹介

観光スポット

○青葉ヶ丘公園

大正3年に開設された歴史あるこの公園は、森町の市街地の中心にあり、町民の憩いの場として親しまれています。ソメイヨシノを筆頭に16種類約千本もの桜が植えられ、「森小町」など固有種も見られます。



5月の「桜まつり」は昭和25年から開催され、毎年10万人を超す花見客で賑わっています。また園内の「茅部の栗林」は北海道の

○さわらフラワーロード



国道278号線の約4kmに渡って整備された花街道です。5月下旬の八重桜から始まり、黄色のマリーゴールド、鮮やかな赤のサルビア、淡い紫色のラベンダーなど、季節ごとに美しい花々が咲き誇り、10月下旬まで人々の目を楽しませてくれます。ラベンダーは自由に摘み取ることができ、季節になると、そ

○鳥崎溪谷八景

内浦湾へ注ぐ鳥崎川を上流に進んだこの溪谷は、その美しさから「鳥崎溪谷」と呼ばれており、特に風光明媚な場所は「鳥崎溪谷八景」と名付けられ案内板が設置されています。紅葉の美しい場所として知られ、溪流釣りも楽しむことができます。



○濁川温泉（にぎりかわおんせん）

森町の北西部を流れる濁川を上流へ進むと、深い森で覆われた溪谷が突然開け、豊かな田園風景が広がっています。太古の火山



○駒ヶ峯温泉ちやつぶ林館



育館が完備されています。その他、屋外にも45ホールのパークゴルフ場、ソフトボール用2面とサッカーやレクリエーション用2面の広さを誇るグラウンド、14面のテニスコートのほか、サイクリング、スポーツスライダー、アスレチックなど様々な施設もあります。また冬期にはスキー場もオープンし、スキーのほかに、バナナボートやスノーラフティングも楽しめるので、スポーツ合宿にも最適です。森町字駒ヶ岳657-16

雄大な駒ヶ岳を望む絶好のロケーションの中、源泉が100%かけ流しの温泉が楽しめる施設で、大浴場や露天風呂、サウナなど多彩な浴槽も魅力です。ゆつたりと湯浴みを楽しんだ後は、施設内の「湯の膳 桜はな」で内浦湾の魚介類をふんだんに使った料理や新ご当地グルメ「森らしいす」を味わったり、新鮮な地場産野菜を購入するのもおすすめです。



天然記念物に指定されており、樹齢200年に達する老木も含め約130本が、古来からの原生林の姿を残しています。

○オニウシ公園
町名の由来である「オニウシ」と名付けられたこの公園は、国道5号線と森市街を結んで、ドライブの休憩所として利用されています。園内にある展望物産館プラザから内浦湾はもとより羊蹄山や珠山まで望むことができます。



れを楽しみに訪れる人の姿も数多く見られます。

○榎本武揚上陸地碑
明治元年に、蝦夷地に新しい国を作ろうとした旧幕府軍の榎本武揚が、新選組の土方歳三らとともに上陸したのが鷲ノ木(わしのき)だとされています。その後、旧幕府軍は五稜郭を占領しましたが、翌年の箱館戦争で新政府軍に破れて降伏することとなります。こうした歴史の足跡を残す場所として、「榎本武揚上陸地碑」が建てられています。

○グリーンピア大沼
グリーンピア大沼は、439万㎡もの広大な敷地を持つ総合リゾートホテルです。室内アクティビティが充実しており、82室284名収容のホテルを中心に、25m室内温水プール、ボウリング場、室内体



噴火により形成されたカルデラである濁川盆地があり、ここには、規模は小さいですが、それぞれ泉質が異なる情緒あふれる6つの温泉が点在しています



です。スポーツで心地よい汗を流したら温泉で心身とも癒しのひとときをお楽しみください。

森町字赤井川229
☎01374・5・2277

○駒ヶ岳木炭
駒ヶ岳山麓地区には炭焼き窯が点在しており、「駒ヶ岳木炭」として広く知られています。

森町の木炭生産量は、北海道内の生産量の約3割を占め、北海道一となっています。



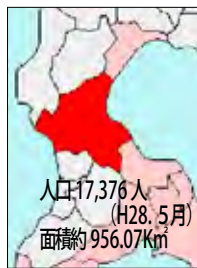
自然豊かな森町の大地や海で育まれた農産物や水産物、伝統の技でつくられた加工品や木炭などの特産品にこの「もりまちロゴマーク」を使用しています。

☎01374・5・2880
○もりまちロゴマーク
もりまちロゴマークは、森町のイニシャル「M」をモチーフに、秀峰駒ヶ岳とすそ野に広がる緑豊かな森、碧く波静かな内浦湾と町の花「さくら」をイメージしています。

やくも 八雲町の紹介

八雲町とは

○八雲町とは



八雲町は北海道の南部、渡島半島のほぼ中央に位置しています。平成17年(2005年)に旧八雲町と旧熊石町が合併し、日本で唯一の太平洋と日本海の



2つの海をもつまち「二海郡八雲町」として誕生しました。

◆八雲地域は、松前藩政時代にアイヌと和人の交易地が開設され、双方の交流が盛んな場所となりました。

八雲町の前身である旧八雲村となる地域では、明治11年(1878年)に旧尾張藩主徳川慶勝公が本格的な開拓を始め、旧尾張藩士が移住し事業を進めました。

八雲という地名は、慶勝公が豊かで平和な理想郷建設を願い、須佐之男命が歌ったとされる古事記所載の和歌「八雲立つ 出雲八重垣 妻籠みに 八重垣つくる その八重垣を」にちなみ名づけられました。その後、昭和32年(1957年)に隣接する落部村と合併しました。

八雲町は、鎌倉時代後期には本州から移り住んだ人がいたと言われ、松前藩が置かれると元禄4年(1691年)に和入地と蝦夷地の境界として熊石番所が設置され、日本の最北端の地になりました。松前藩政時代からニシンの千石場所として繁栄し北前船の往来もあり、独自の生活文化を形成してきました。

○産業

明治初期に旧尾張藩士ら開拓の中心となった徳川農場は、当時は最先端の西洋式農法を用い開拓されました。大正9年(1920年)頃から全町の酪農に取り組みはじめ、昭和30年代には酪農は八雲に「字べ」と言われるほど先進的でした。現在では、道南を代表する酪農郷として多くの牛

が飼育され、もち米、米の国道229号、太平洋と軟白ねぎ、花卉、イチゴ、トマト等が生産されています。また、林業では、徳川農場による開拓・森林経営の伝統が地域に根付き、町有林だけでも4995haが保育管理されています。

漁業は、太平洋側と日本海側で営まれています。八雲町全体は漁獲高が約88億円となり、その内、内浦湾側のホタテの養殖は75億円にのびります。また、熊石では温泉熱と熊石海洋深層水を活用したアワビの種苗生産や中間育成が行われています。両地域では他にも、

7月 八雲山車行列
9月 熊石産葉まつり
10月 やくも大漁秋味まつり
11月 おとしべ豪海フェスタ
2月 八雲さむいべや祭り

○交通

八雲町は、函館と札幌間を結ぶ国道5号、日本海側

○イベントカレンダー
5月 熊石あわびの里フェスティバル
6月 落部公園つつじ祭り
やくもミルクロードレース大会

の国道229号、太平洋と日本海を結ぶ国道277号のほか、道央自動車道の八雲ICと落部ICがあり、交通の要衝となつていきます。また、JR函館本線の鉄道が通るほか、約15年後には北海道新幹線新八雲駅(仮称)が開業する予定です。

町の取組み

るほど過ごしやすいまちです。

○移住

八雲町は、道南の比較的温暖な地域にあり、豊富な海・山の幸と鮭、シカ、熊、オオワシ・オジロワシに出会える北海道の雄大な自然に恵まれています。

【移住政策】

八雲町まち案内（要予約）、移住者への土地の無償譲渡、お試し住宅の提供を行っています。

【新規就農】

また、町村立病院としては全国最大規模の地域のセンター病院のほか、大型商業施設も揃っており、都市機能が調和した「ちょうど良い田舎」八雲町には、安心して田舎暮らしを実現する力ギがあります。移住した方から「自然環境と豊かな食、美しい景観や温泉などに恵まれている」「買い物

○問合先

物の利便性、生活インフラ、医療や福祉の面で、ほぼ都会と同じような暮らしが実現できる「田舎暮らし」という感覚はない」と言われ

・移住担当…企画振興課
・新規就農担当…農林課
〈移住情報ホームページ〉



八雲町の紹介

やくも

○八雲町ふるさと応援寄附金

八雲町では、活気ある個性豊かなまちづくりを進めるため、ふるさと応援寄附金を募集しています。

○寄附金の用途指定（8分野）

自然・環境分野、産業分野、社会基盤分野、生活環境分野、保健・福祉・医療分野、教育・文化分野、住民協働分野、分野を町長に委任

○寄附者に対し記念品を贈呈しています

八雲町では、寄附の奨励と特産品のPRを図るため、町外寄附者に対し記念品を贈呈しています。

申込方法は寄附金ポータルサイト「さとふる」と、町への申し込みの2種類あります。

申込方法により記念品の内容も異なりますので、詳しくは各ホームページをご覧ください。
(下写真Ⅱ八雲の牛肉ギョーツと詰合せ)



【お問い合わせ先】

(担当：企画振興課) ☎0137-62-2300

- 八雲町ふるさと応援寄附金
- 「さとふる」八雲町ページ

<http://www.town.yakumo.lg.jp/modules/fund/content0005.html>



<http://www.satofull.jp/town-yakumo-hokkaido/>



●お問い合わせ

●八雲町役場 〒049-3192 北海道二海郡八雲町住初町138番地
TEL: 0137-62-2300 (代表) FAX: 0137-62-2120

やくも 八雲町のご紹介

日本で唯一 二つの海をもつまち 八雲町

観光スポット

★八雲町の魅力をお伝えします！

食と観光の情報は「八雲町情報
交流物産館 丘の駅」へお問い合わせ
わってください！

問合先・丘の駅

(八雲観光物産協会)

☎0137・65・6100



○噴火湾を一望 道立公園 20年(1887年)に熱田
噴火湾、ハノラマパーク& 神宮の分霊を仰ぎ日本で唯
周辺おすすめスポット 一の分社となり、昭和9年
道立公園噴火湾、パノラマ (1934年)には徳川慶
パークは、年間入込客数約 勝命が合祀されました。
67万人を超える代表スポット ○北海道といえは木彫り熊
トのひとつです。噴火湾を 八雲が発祥の地
一望する丘には、オート 木彫り熊の起源は、徳川
キャンプ場、パークゴルフ 農場主である徳川義親公が
場、まきばの冒険広場のほ 1922年にスイスを旅行
か、高速道路PAに併設さ している際に木彫り熊を見
れるパノラマ館にはキッズ つけ、熊狩りで毎年訪れて
アリーナやカフェが設置さ いる八雲町の農民の副業に
れています。 持ち帰り、八雲の人々にす

○北海道三大あんどん祭り
八雲山車行列

毎年7月に開催される、
夏の夜の一大イベントで
す。斜里町「しれとこ斜里
ねぶた」、沼田町「夜高あ
んどん祭り」とともに北
海道三大あんどん祭りと
して知られ、各団体が明
かりを灯した山車や踊り、
演奏などのパフォーマン
スをしながら町を練り歩
きます。



○海と風と緑と

八雲町育成牧場
トコタンの森の上の展望

ます。会場となる青少年旅
行村は、キャンプ場のほか
川遊びができるちやぶちや
ぶ公園、わんぱくの森など
ファミリィで楽しめる施設
が充実しています。



○体験がいっぱい
八雲生活

八雲町活性化施設ファア
ムメイド遊楽部館では、
ソーセージ、チーズ、アイ
スクリーム、バターなどの
手作り体験ができます。こ
のほかの各地域でも、漁船
で海釣りを楽しむマリィ体
験やネイチャークラフト、
リース作り、米の田植えな
ど八雲生活を体験できま

○400年以上の歴史
熊石地域神社例大祭

「根崎神社例大祭」「北山
神社例大祭」「相沼八幡神
社例大祭」は、400年以
上の歴史があると言われ、
各地域毎に山車を出し、町
なかを練り歩きます。根崎
神社祭の宿入では、1トン
近くの神輿を担ぎ参道の階
段を山の上の本殿まで一気
に駆け上がるのが見所
です。



○内浦湾(噴火湾) は火山
と温泉の宝庫

内浦湾は、北海道南西部
にある湾(直径約50kmの
円)です。噴火湾という名

八雲町の紹介

また、同公園内には、八雲町や近隣市町村の特産物、観光情報を発信する八雲町情報交流物産館丘の駅が設置されています。

公園周辺には、日本ケンタッキーフライドチキンの実験農場として開設され（平成14年から）（シージーシーコムサへ経営移管）、国産ハーブ鶏を生み出した「ハーベスター・八雲」や、創業100余年元山牧場直営のカフェ「ELFIN」があり、噴火湾を眺めながら食べる味が格別です。

●熱田神宮日本で唯一の分社 八雲神社
八雲神社は、明治11年（1878年）に旧尾張藩主徳川慶勝公が開拓し、移住した旧藩士たちが故郷の熱田神宮神符と尾張徳川家歴代の神霊を祭り、産土神としたのが起源です。明治

すめたのが始まりです。八雲町木彫り熊資料館ではこの持ち帰ったスイスの熊や北海道木彫り熊第1号が展示されています。



○日本海水深343mから熊石海洋深層水
熊石海洋深層水は、日本海の水深約200m以深に存在する「日本海固有水」と称される海水です。地域では、エゾアワビの飼育等水産分野や、飲食品製造などで利用されています。熊石海洋深層水は販売スタンドで購入ができます。

台からは内浦湾や八雲市街地をのぞめます。牧場は約305haあり（東京ドーム約65個分）、酪農郷八雲町らしく雄大な大地に若牛が草を食む姿は牧歌的で散歩、ハイキングにおすすめです。



○熊石あわびの里フェスティバル
あわび養殖地である熊石地域ならではのイベント。5月、八重桜が満開となる熊石青少年旅行村にて開催され、あわびやエゾバカ貝（アオヤギ）の浜焼きやあわび料理などを楽しま

前は、1796年（寛政8年）に当地を訪れた英国船の船長が、内浦湾がほぼ円形なこと、周囲を取り囲む北海道駒ヶ岳や有珠山などの火山を見て「Volcano」と語ったことが由来と言われていました。そのためか、周辺の市町村には必ず温泉があります。八雲町内には、山林の中溪流の岩肌で湯がたまり熊が治療に使った湯と言われる「熊の湯」のほか7つの温泉地があります。



●熊石産業まつり&やくも大漁秋味まつり&おとしべ豪海フェスタ
各地域の浜の味が集合し、生きているサケつかみ取りが子どもや大人にも大人気です。この他にも、丸ごと塩漬にしたサケの山漬、ホタテやホッキ、ポタンエビなど浜の母さんの味が楽しめます。熊石産業まつりは9月、やくも大漁秋味まつりは10月、おとしべ豪海フェスタは11月に開催されます。



おしゃまんべ 長万部町のご紹介

長万部町とは



○長万部町について

長万部町は、渡島半島内浦湾の最奥部に位置し、大部分が丘陵部と山地ですが、平地は湾に沿って南北に伸び、北海道内では、比較的雪の少ない温暖な気候です。

長万部町は、古くから道南と道央を結ぶ交通の要衝として重要な地となっております。JR函館本線・室蘭本線の分岐始発駅となっております。

また、平成28年3月26日に北海道新幹線 新青森〜新函館北斗駅間が開業し、ま

したが、長万部駅はそこから約1時間のところであり、北海道新幹線の札幌延伸時には新幹線長万部駅の設置が決まっています。

これからも道南北部の交通要衝の町、内浦湾沿岸の中間地点として21世紀の交通拠点都市を目指して行きます。

○長万部町の名前の由来

長万部(オシャマンベ)とは、アイヌ語の「オ・シャマンベ」に由来し、直訳すると「オ(川口) シヤマンベ(鱈・カレイ)」となり、カレイのたくさんとれる川口」となります。

また、写万部山の雪解けの頃、カレイの形に雪が残るので、これが地名になったという説もあります。

○おしゃまんべ毛がにまつり

町のメインフェスティバルで、長万部町ならではの「全日本毛がに早食い競争」は大変人気があります。町の名物である「かにめし弁当」が割安で食べられる「かにめしサミット」のほか、長万部産の毛がにを大きな釜で豪快に茹でる「浜ゆで毛がに」の販売もあり、茹でたての毛がにを味わうことができます。||写真、長万部観光協会提供。

○町の名物

ホタテ、毛がに、ホッキ貝、かにめし



町の取組み

○移住への取組み

長万部町への移住等を促進するため町内の売り家などの物件を「おしゃまんべ」がしWeb」として、町ホームページ上で公開し、情報提供しています。

○小中高大連携

小学校、中学校、高校、大学があるという教育環境を活かし、「小中高大連携による学習活動」を展開し、児童生徒の学力向上、学校間交流を通じて、いきいきと学ぶ子供像や魅力ある学校づくりを目指しています。

○東京理科大学との連携

平成27年9月に東京理科大学長万部キャンパスにて「長万部地方創生サミット」

を開催し、人口減・高齢化など長万部が直面している大きな課題に長万部町と東京理科大学が一体となつて、長万部の特徴を活かした自律的で持続可能な社会を創生できるよう「長万部町と東京理科大学との地方創生に係る包括的連携協定」を締結しました。

町内の観光情報を提供しています。観光案内所には長万部町の特産品や土産品などを取りそろえ販売しており、観光客に好評を得ています。

また、長万部町の公式キャラクターであり、観光協会の広報室長でもある「まんべくん」が、道内外の各種観光イベントに参加し、町のPRと観光客の誘致に努めています。

○観光協会の取組み

長万部観光協会では、インターネットで町の観光情報を積極的に発信しているほか、平成24年にJR長万部駅舎内に観光案内所「インフォまんべ」を設置し、

町を訪れる多くの観光客のみなさんへ長万部温泉や二股ラジウム温泉の案内、飲食店や商店の紹介をはじめ



【事業メニュー】

- ① まちづくり・産業振興・観光に関する事業
- ② 健康・福祉・医療に関する事業
- ③ 子ども・子育て支援と教育・文化・スポーツに関する事業
- ④ 環境保全・森林整備に関する事業

【寄附へのお礼】

1万円以上のご寄付をいただいた方に感謝の気持ちとして記念品を贈呈しています。記念品は、長万部産または北海道産の毛がなどに数種類より選択できるようにしています。

(担当) まちづくり新幹線課

電話・013771212450)

○ふるさと納税
長万部を応援してくれる本町出身の方、また本町に親しみや共感を覚えてくださる方々から寄附（ふるさと納税）を募り、誰からも愛されるまちとして、個性豊かで活力あるまちづくりを進めるため活用しています。

長万部町の紹介 おしゃまんべ

長万部町のご紹介

観光スポット

○長万部温泉



を含み、何万年もかかって生まれた放射性石灰華(せっかいか)ドームは、アメリカの国立公園イェローストーンとともに世界で二つだけと言われています。

同ドームは、昭和46年には北海道の天然記念物にも指定されました。

昭和30年に天然ガスの試掘によって発見された温泉で、神経痛・冷え性・痔疾などに高い効能があると評判の温泉です。泉質は「高張性弱アルカリ高温泉」で、湯上がり後にも長時間身体がポカポカしています。国道からもJR長万部駅からも至近で、ドライバーや観

○静狩海岸の鳴き砂



砂地が、町内の小学生によって発見されました。鳴き砂は、粒のそろった石英の砂粒がこすり合って音を出すと考えられていて、静狩海岸の約4.5キロに渡って続いています。||写真、長万部観光協会提供。

○静狩湿原

写万部(しゃまんべ)山の麓に広がる、平地としては最南端の高層湿原です。随所に小沼がひっそりと水をたたえ、春のヒメシヤクナゲに始まり、初夏にはアヤマやワタスゲなど可憐な花々が原生します。食虫植物のモウセンゴケなども観察され、鳥たちと植物の楽園となっています。

近くには、野生の花々を観察できる「野草園」があります。||写真、長万部観光協会提供。



スコートなどのスポーツ施設のある総合公園です。春の桜、ツツジ、夏の町花アヤマの美しさもひとしおで、自然に親しむ町民の憩いの場として人気があります。バンガロー(有料)もあり、夏には町外からのファミリーキャンプでにぎわっています。

○平和祈念館



昭和58年の終戦記念日に

域の仏像など、他では見られない貴重な古美術品が多数展示されております。前庭の彫刻の庭では、北海道出身の世界的彫刻家・本郷新の作品群が平和を祈っております。

○ラシヤマンベ陣屋跡

安政3年(1856年)、江戸幕府の命を受けた南部藩が、蝦夷地警備のため南部室蘭陣屋のラシヤマンベ



おしゃまんべ
長万部町のご紹介

光客にも庶民的な温泉として親しまれています。写真、長万部観光協会提供。

○二股ラジウム温泉

温泉経営が始まる明治以前から秘湯とされた温泉です。天然のラジウムと石灰

踏みしめるとキュツ、キュツと音を出す鳴き砂です。全国でも30カ所しか確認されていないこの貴重な



○長万部公園・とみの森



散策路や遊具施設、テニ

誕生。丸木位里（いり）・分屯所として設置しまし俊（とし）夫妻「原爆の図」など、反戦と平和を願う心が生んだ数々の美術工芸作品を展示しています。写真、長万部観光協

町時代の仏像、インドや西

長万部町のPRキャラクター。平成15年に公募で入選した作品が起源です。外見は、長万部町の名産品でもありますカニ、ホタテ、町花のアヤマを組み合わせたデザインとなっています。

週末のお昼前後に長万部駅に到着する特急列車のお迎えや町内外のイベント等にも多数出演しておりますので、今後の活躍を応援していただきたいと思

まんべくん



●お問い合わせ

○長万部町役場

〒049-3592

北海道山越郡長万部町字長万部453番地1

TEL: 01377-2-2000 (代表) FAX: 01377-2-4884

○北海道倶楽部の事業概要

当倶楽部は、昭和2年新渡戸稲造ら北海道に縁を持つ首都圏在住者を中心に北海道の開発と発展を目的として東京に設立された任意団体「北海道倶楽部」から始まりました。昭和41年に社団法人化し、平成26年1月6日に、公益社団法人に移行しました。

北方領土返還、ふるさと納税等寄附の推進及び北海道新幹線早期実現の3大運動を柱とし、北海道及び北海道内の市町村（関係の団体を含む。以下「北海道等」という。）の健全な発展を目的として下記のような公益事業を行っています。

公益目的事業

北海道及び北海道内の市町村など（地域社会）の健全な発展を目的とする事業

（1）北海道等のための広報活動

・広報誌「北海道NOW」の発行、北海道情報ラックの設置、ホームページなどによる広報活動を行っています。

（2）北海道等が主催・共催・後援する地域活性化事業の支援活動

・北海道等からの要望を取りまとめ、倶楽部が実施しているキャンペーン集会等の場で市町村等の地域活性化に資する事業を支援しています。

・倶楽部の広報誌「北海道NOW」でも関連する記事を掲載し、地域活性化に資する広報事業を行っています。

（3）北方領土返還運動

・北方領土隣接地域振興対策協議会への支援、北方領土ノサップ岬マラソン大会、北方領土返還の各種イベント、署名活動への協力を行っています。

・シンボルバッジ「ブラウンリボンバッジ」「千島桜バッジ」

「CDちぎれ千島に雲が飛ぶ」等の頒布を行っています。

・キャンペーン集会の開催、「北海道フェア in 代々木」への出展を行っています。

（4）北海道等へのふるさと納税等寄附の推進運動

・ふるさと納税、寄附等推進のために広報誌及びイベントなどを通しての広報活動を行っています。

（5）北海道新幹線早期実現運動

・「早期実現『新幹線』バッジ」の頒布を行っています。

・キャンペーン集会の開催、「北海道フェア in 代々木」への出展を行っています。

（6）講演会の開催

・当倶楽部の目的と深い関係のあるテーマの講演会等を一般を対象に無料で行っています。

北海道倶楽部のあゆみ	
昭和 2 年	「北海道倶楽部」の創設（新渡戸稲造などが会員として結成）
昭和 23 年	戦後、新生「北海道倶楽部」の設立総会、会報「北海道倶楽部」を創刊
昭和 37 年	北海道人交歓パーティー開催参加者400人 （現在の交流イベント「WeLoveHokkaido」）
昭和 41 年	社団法人北海道倶楽部正式認可
昭和 42 年	北海道倶楽部所有の不動産を処分し北海道開発庁の職員寮寄付 開道 100 年と冬季札幌オリンピックにあたり北海道に国際空港を設置運動
昭和 43 年	北海道倶楽部特別基金募集、北海道東京事務所 4 階増築整備および開道 100 年記念事業の費用拠出
昭和 44 年	北海道勤労青少年センターが発足
昭和 46 年	旭川国立医科大学の誘致運動展開、真駒内屋外スケート場前に札幌オリンピック・モニュメントを建設、寄贈（雪華の像 本郷新制作）
昭和 47 年	第 1 回北海道産業視察ツアーで道内政財界人と交流（平成元年まで 1 4 回実施）
昭和 52 年	有珠山被害義捐金街頭募金 543 万円
平成 2 年	北海道開発庁 4 0 周年で開発功労表彰
平成 7 年	「北海道開発に関する提言 11 項目」堀北海道知事へ提出
平成 8 年	「北海道・ゆめプラン」提言募集倶楽部は東京事務局として論文募集を担当
平成 9 年	ふるさと活性化フォーラム開催 北海道自然体験学校、開催倶楽部は東京事務局として参加者募集を担当
平成 10 年	シンポジウム「北海道を考える」経団連会館で開催
平成 11 年	北海道の自立をめざす提言書「いま、北を考える」を道知事、北海道開発庁長 官に提出
平成 12 年	有珠山被害義捐金を募金
平成 14 年	「北海道倶楽部を語る会」を立上げ、倶楽部活性化策などにつき検討
平成 15 年	台風 1 0 号による日高被災者支援募金
平成 20 年	ふるさと北海道応援大使、大使館活動開始 ふるさと納税キャンペーン開始公益事業の強化 創設 60 周年を記念してロゴマーク制作 「ふるさと納税キャンペーン」ギフト制度開始 「北海道情報ラック」開始
平成 21 年	秋葉原で情報展示イベント 広報紙「北海道 Now」増刊号刊行 北海道で提案募集コンテスト開始「北海道のためにわれわれはなにをすべきか」
平成 22 年	北方領土返還推進ブラウンリボンバッジ・早期実現新幹線バッジ頒布開始 北方領土返還ノサップ岬マラソン大会協力開始 代々木北海道フェアに出展開始、情報展示イベント
平成 23 年	C D 「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」頒布開始 1972 年札幌五輪「雪華の像」（本郷新）補修
平成 24 年	ふるさと納税寄附者に感謝状贈呈（交流イベント時）
平成 25 年	新事務所完成・移転、北方領土返還「千島桜」シンボルバッジ 配布開始
平成 26 年	公益社団法人移行、寄附のお願い（寄附税制適用）
平成 27 年	ふるさと納税制度開始から行っていたギフト制度を役割終了のため終了
平成 28 年	「北海道 NOW」に北海道自治体の紹介を連載開始

年間の公益事業・行事など

新年交礼会開催（1月）

北方領土返還推進運動「ブラウンリボンバッジ」キャンペーン
「千島桜」シンボルバッジキャンペーン
「北海道新幹線早期実現」「新幹線バッジ」キャンペーン
「ふるさと納税推進」キャンペーンなどの年初スタートを実施。

「北方領土返還要求全国大会」に参加（2月7日）

交流の夕べを開催（8月4日）

キャンペーン、北海道等の広報を目的とした夏の交流事業を実施。

北海道での交流、講演会等を開催（夏期）

北方領土隣接地域（根室など1市4町）視察・交流、一般参加可（費用自己負担）
／「北方領土ノサップ岬マラソン大会」開催協力

交流イベント「We Love Hokkaido」の開催（旧道産子の会、10月）

北海道関係者、北海道ファン、一般参加者 300名、有料1万円
キャンペーン、公益事業の広報、地域活性化イベントなどを実施。

講演会、シンポジウムの開催（無料、時期未定）

当倶楽部の公益事業と関連した講演テーマを検討する。一般の参加歓迎（講演テーマ、行政との協調などにより公益性のあるものとし、一般参加を呼びかける。北海道での開催も検討）

代々木北海道フェアへ出展（10月初旬）

代々木公園のイベントスペースに出展
キャンペーン・情報展示のためイベントに参加、情報展示イベントを実施。
情報紙「北海道“NOW”」増刊号11万部発行、代々木中心に全国紙折込
（当倶楽部の公益事業、道内情報広報のキャンペーンなど）

情報紙「北海道“NOW”」の発行・配布

倶楽部の事業に係る広報のため、情報紙「北海道“NOW”」本紙・増刊号 年12回
を発行。一般配布（有料 月額80円）有り。

北海道情報ラックに北海道情報を配布（毎月、無料）

ホームページで倶楽部公益事業を広報（適時）

その他

倶楽部内交流の同好会の活動に協力。（独立運営・会計、北星会（ゴルフ）、囲碁会）



「摩周湖」(弟子屈町)

入会希望の方は定款（HPにあります）をご了承の上
下記申込書を A4 にコピーし、ご記入の上郵送下さい。

法人の方は HP から申込書を印刷下さい。

正会員

公益社団法人北海道倶楽部

入会申込書 登録事項変更申込書

申込年月日 平成 年 月 日		印	
ふりがな			
氏名			
生年月日 明大昭 年 月 日			
新規登録、変更は下記に記入／会員抹消は氏名のみ記入 連絡先は <input type="checkbox"/> 勤務先・ <input type="checkbox"/> 自宅とします。 会報、郵送物の送付先を指定。（左記 <input type="checkbox"/> にチェック）			
勤務先	会社名（ふりがな）		
	役職名		
	住所 〒（ ）		
	電話	— — FAX — —	
	業種		
連絡用mail @			
自宅 <small>はチェック 名簿非掲載希望</small> <input type="checkbox"/>	住所 〒（ ）		
	電話	— — FAX — —	
出身地	市町村	最終学校	北海道との関係
関心分野	支援 <input type="checkbox"/> 総務 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> 北方領土返還 <input type="checkbox"/> 地域活性化・ふるさと納税 <input type="checkbox"/> 新幹線延伸		
	事業 <input type="checkbox"/> 新年交礼会 <input type="checkbox"/> 交流の夕べ <input type="checkbox"/> 北海道フェア <input type="checkbox"/> 交流イベント		
趣味 <input type="checkbox"/> ゴルフ <input type="checkbox"/> 囲碁 その他（ ）			
紹介会員 (1)		(2)	

事務局使用欄(市・町冊子)	会員ID
理事会承認日 年 月 日	入力完了日 年 月 日